

Panasonic

大型雨とい高排水システム

VP・VU75、VP100、VP125

消費税総額表示



VP・VU75

VP100

VP125



詳しくはWEBでも
ご覧いただけます。

2022.6

Green
Housing
Panasonic

大型雨とい 高排水システムとは

「大型雨といエアロアイアン」・「谷コイル」と株式会社クボタケミックス製「ビニルパイプ・カラービニルパイプ（JIS管）」を「自在ドレン（高排水用）」などの専用部材を用いて組み合わせるシステムです。
部材を適切に組み合わせることにより雨水の流れを効率化し、排水能力を最大限に高めることができます。

排水能力向上

雨水を効率的に流すことにより排水能力を向上
たてといのサイズダウンや本数削減を図ることができます

■ 落し口1か所当たりの適応屋根投影面積の比較



※1 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000でエアロアイアン前高200WIDEと組み合わせた場合。

※2 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000で谷コイル幅300mm×高さ200mmと組み合わせた場合。たてといの垂直部（ストレート部）の長さが8m以上の場合。

※3 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000で谷コイル幅300mm×高さ300mmと組み合わせた場合。たてといの垂直部（ストレート部）の長さが8m以上の場合。

※ 専用部材をご使用の上、P.10～の施工制約をお守りください。

※ 屋根面積によっては落し口が減らない場合もあります。

メリット

① 外観意匠向上

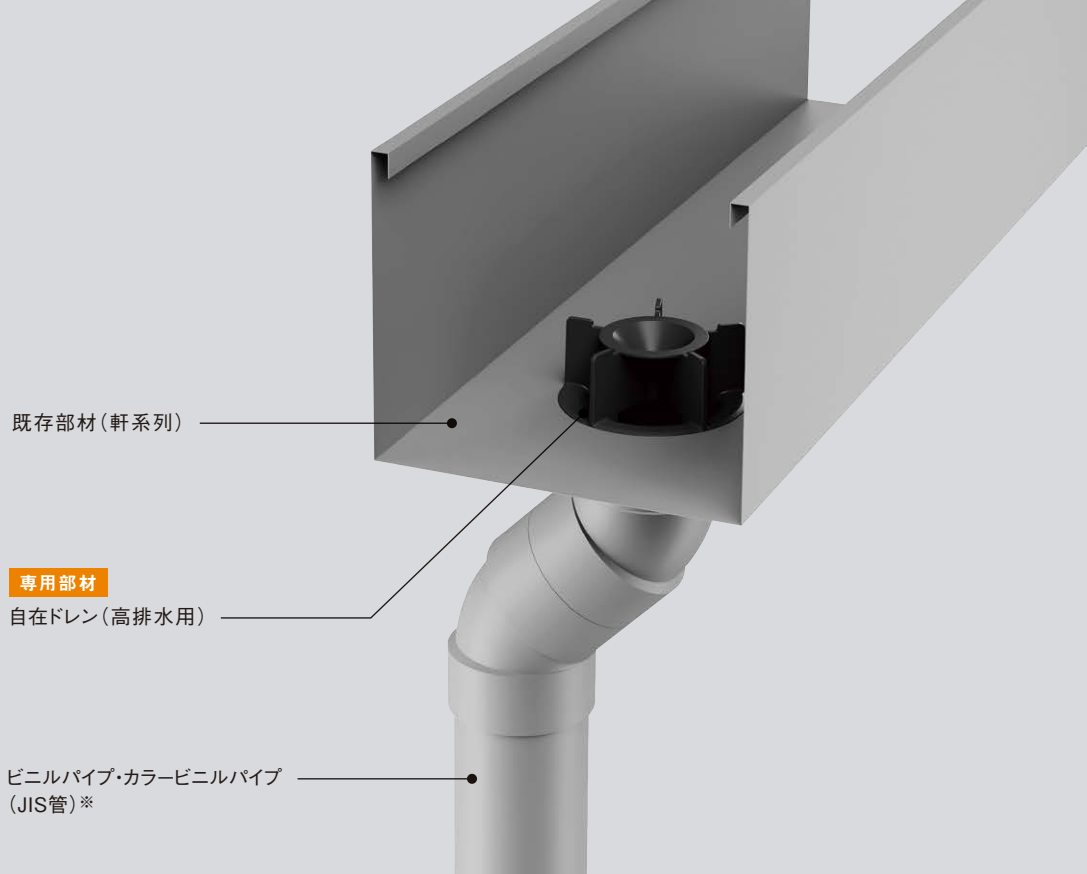
たてといの存在感を軽減し、
外観意匠が向上します。

② 省施工

運搬・施工効率がアップ。
現場での保管スペースも削減できます。

③ 経済性向上

材料費のコストダウンを実現。
施工時間の短縮も期待できます。



専用部材

自在ドレン (高排水用)

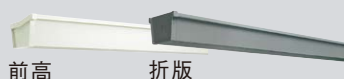


スライドS (高排水用)※
※ 8m毎に1か所ご使用ください。



既存部材 (軒系列)

エアロアイアン 前高／折版



谷コイル



特注品

ドレン^{ボコ}凹ター



貫通管



既存部材 (たて系列)

ビニルパイプ・
カラービニルパイプ (JIS管)
VP/VU※



軒とい・たてとい対応一覧

		ビニルパイプ・カラービニルパイプ (JIS管)		
		VP・VU75	VP100	VP125
軒とい エアロアイアン	前高130WIDE	○	—	—
	前高165WIDE	○	—	—
	前高200WIDE	○	○	○
	折版120 I型	—	—	—
	折版150 I型	○	—	—
	折版150 II型	○	—	—
	折版200 I型	○	○	○
谷コイル		○ (幅130mm以上 高さ100mm以上)	○ (幅200mm以上 高さ150mm以上)	○ (幅200mm以上 高さ200mm以上)

※ スライドS (高排水用)、ビニルパイプ・カラービニルパイプ (JIS管) は、(株)クボタケミックス製商品です。

CONTENTS

大型雨とい高排水システムとは ……	P.01
製品構成 ……	P.02
大型雨とい高排水システムのしくみ ……	P.03
部材・施工組立図 ……	P.05
部材・品番一覧 ……	P.07
納まりと施工基準 ……	P.10
各部の設計・施工ポイント ……	P.10
排水能力 ……	P.19
施工手順 ……	P.21
製品図面 (専用部材) ……	P.23
軒先納まり例 ……	P.25
施工事例 ……	P.26
商品紹介 ……	P.27
ケイミュー営業所一覧 ……	P.30

大型雨とい 高排水システムのしくみ

大型雨といから雨水を効率的に流すことで、
落し口1か所あたりの排水能力を向上させることができます。

たてといのサイズダウンまたは落し口削減による3つのメリット

メリット1 外観意匠向上

たてといの存在感を軽減し、外観意匠が向上します。

① たてといサイズダウン



VP150



VP75高排水

② たてとい本数削減※



VP75

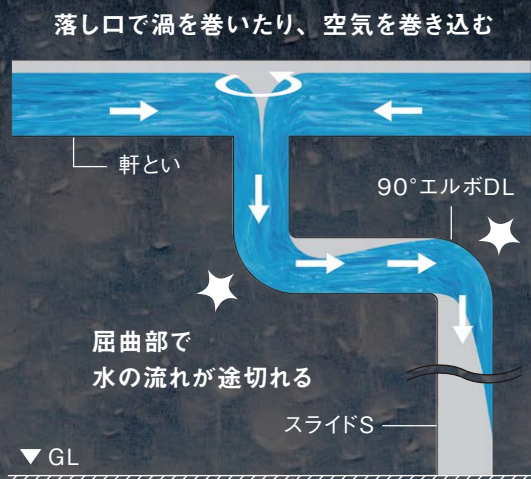


VP75高排水

※採用するパイプ(JIS管)を同径のまま本数を減らす場合は地中ます、埋設管のサイズも変わりますのでご注意ください。

通常排水

落し口やエルボでの抵抗が大きく
効率的に雨水を引き込みません。



<専用部材>

① 自在ドレン (高排水用)

渦の発生と空気の
巻き込みを抑制



<既存部材>

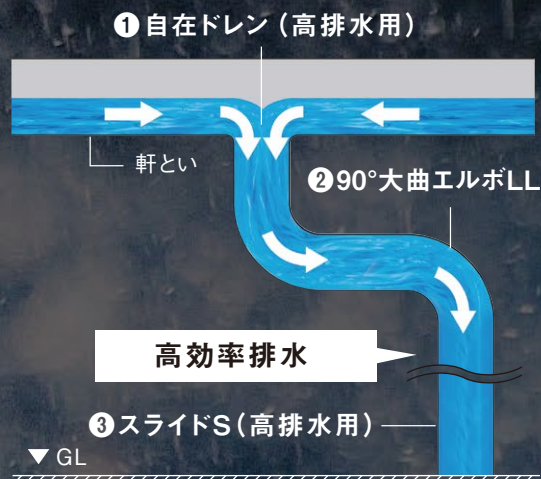
② 90°大曲エルボLL

滑らかな
流路を作る



大型雨とい高排水システム

専用部材と既存部材を適切に組み合わせ、
雨水を効率よく流すことにより
排水能力が従来より大幅にアップします。



<専用部材>

③ スライドS (高排水用)

従来のスライドSより
止水性を
向上させ、
吸気音も抑制



大型高排水システムを
もっと知りたい方は
CHECK!



動画で
CHECK!



WEBで
CHECK!

メリット2 省施工

運搬・施工効率がアップ。
現場での保管スペースも削減できます。

重量削減 (4m長さ1本あたりの比較)

従来	重量(kg)	高排水	重量(kg)
VP150	27	VP75	9
VP200	41	VP100	14
VP250	62	VP125	18

重量
約1/3

省スペース化

従来	外径	高排水	外径
VP150	Φ165	VP75	Φ89
VP200	Φ216	VP100	Φ114
VP250	Φ267	VP125	Φ140

外径
約1/2

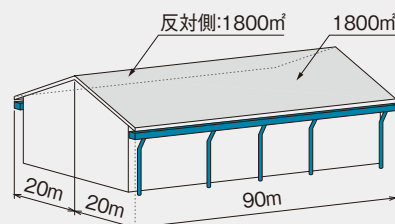
1本あたりの外径が約半分になりますので現場、倉庫に
多数保管する場合は1/2以下の省スペース化が可能です。

メリット3 経済性向上

材料費のコストダウンを実現。施工時間の短縮も期待できます。
(通常排水VP150と高排水VP75を比較した場合)

材料費の比較

モデルケース	工場2階建て 軒高さ8m
屋根面積	3600㎡
降雨強度	160mm/h
軒とい	エアロアイアン前高200WIDE
落し口	10か所



たてといVP150を100とした場合の指数 (軒といおよび、落し口の数量は同じ)

たてとい VP150

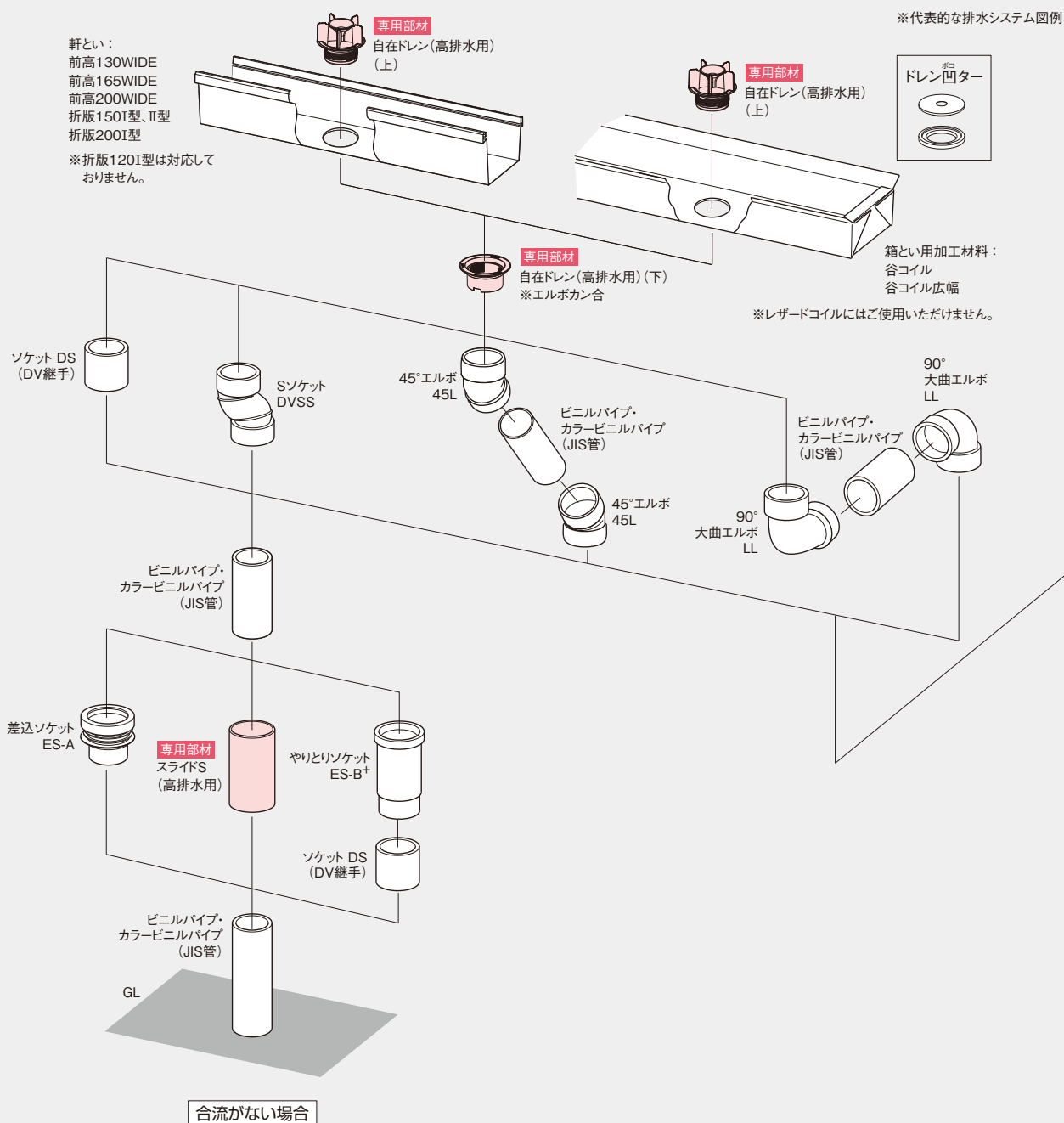
100

たてとい 高排水VP75

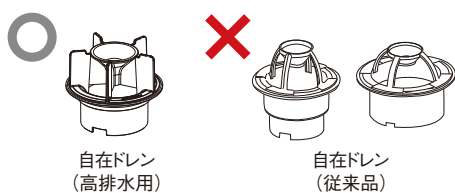
75

部材・施工組立図

必ず高排水用の専用部材をご使用ください。排水能力が得られず、オーバーフローを引き起こすおそれがあります。

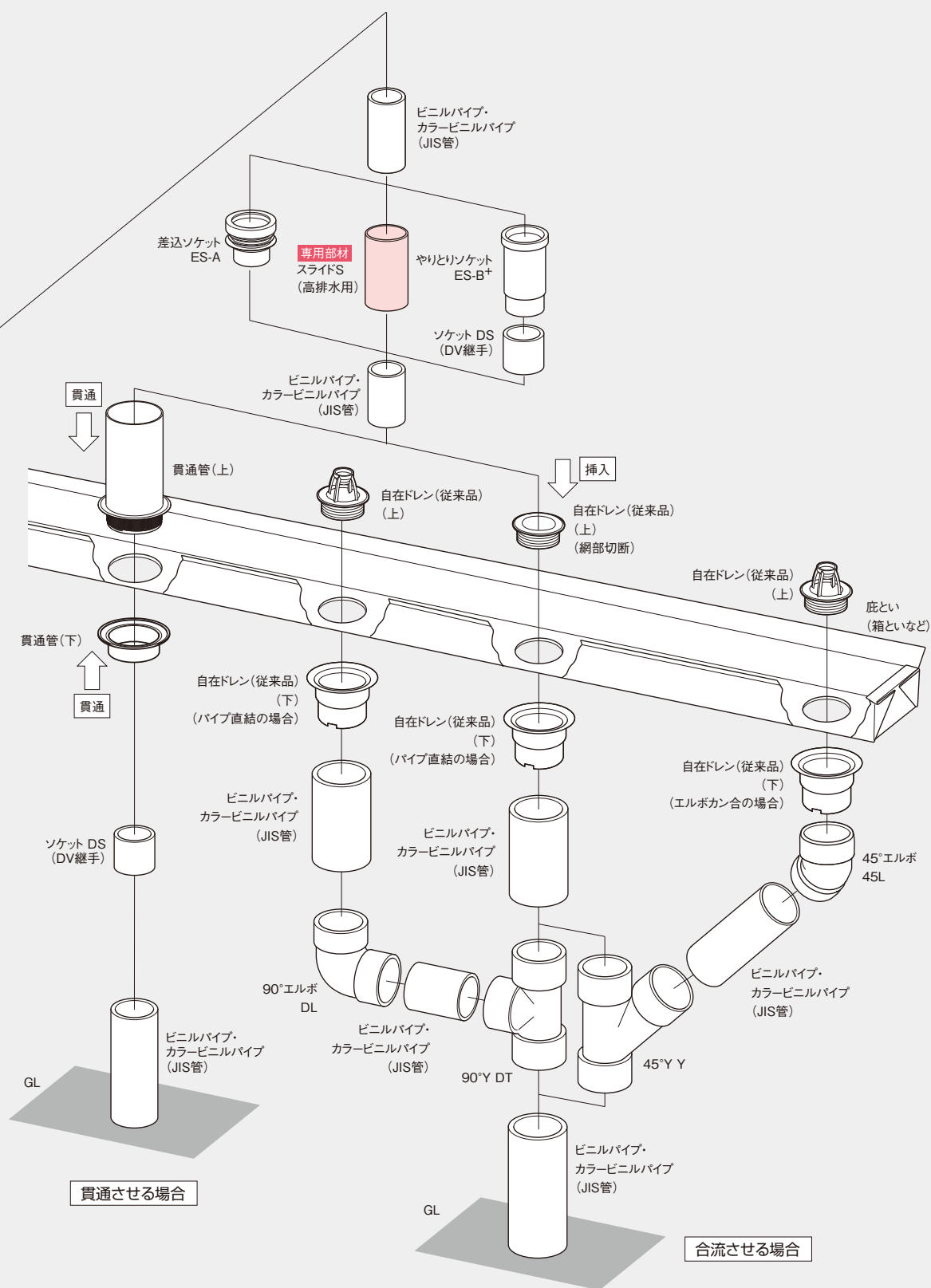


●自在ドレンは専用部材をご使用ください。



●エルボで曲げて落とす場合は、大曲エルボや45°エルボをご使用ください。





ビニルパイプ・カラービニルパイプ (JIS管)、DV継手・カラーDV継手、その他継手・カラーその他継手は、株式会社クボタケミックス製商品です。株式会社クボタケミックスのブランド・梱包となります。

高排水用専用部材

品名	略図	サイズ(仕様)	品番・色					メーカー希望小売価格	入数
			ミルクホワイト	ねずみ	シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー		
自在ドレン(高排水用) ※1		VP・VU75	KA30941KH	KA32941KH	KA33941KH	KA3N941KH	KA3T941KH	4,444円 (税抜4,040円)	6
		VP100	KA30951KH	KA32951KH	KA33951KH	—	KA3T951KH	11,396円 (税抜10,360円)	6
		VP125	KA30961KH	KA32961KH	KA33961KH	—	KA3T961KH	22,770円 (税抜20,700円)	6
貫通管		VP・VU75用 (L=150~400)	特注品にてお受けしております。※2 ・一括品番KA32					10,890円 (税抜9,900円)	受注数
		VP・VU100用 (L=250~400)	—	—	—	—	—	12,914円 (税抜11,740円)	
		VP・VU125用 (L=250~400)	—	—	—	—	—	14,938円 (税抜13,580円)	
ドレン凹ター ※3		VP・VU75(高排水用)	特注品にてお受けしております。※3 ・一括品番KA32 ・ABS樹脂製の落し口段付け加工工具です。					31,614円 (税抜28,740円)	受注数
		VP100(高排水用)						57,002円 (税抜51,820円)	
		VP125(高排水用)						57,002円 (税抜51,820円)	

※1 自在ドレン(高排水用)の上(側)の色はブラックのみです。自在ドレン(高排水用)は、バラ出荷可能です。
※2 貫通管(特注品)は一括品番のため、サイズ・貫通管の長さ・色・数量をご指定ください。L寸法の加工誤差は±5mmとなります。L寸法について指定がない場合は、400mmとなります。
色について指定がない場合は、ねずみ色となります。納期は受注後約1か月です。
※3 ドレン凹ター(特注品)は一括品番のため、自在ドレンのサイズ・数量をご指定ください。納期は受注後約1か月です。

株式会社クボタケミックス製商品 株式会社クボタケミックス製商品です。株式会社クボタケミックスのブランド・梱包となります。当社製軒といと多少色味・ツヤが異なります。

ビニルパイプ・カラービニルパイプ(JIS管)




品 名		略 図	サイズ		品番・色					ビニルパイプ メーカー 希望小売価格	カラービニルパイプ メーカー 希望小売価格	バイ 入数	カラー ビニル パイプ 入数
			(仕様)	長さ	ねずみ (ビニルパイプ)	グレー	ミルク ホワイト	シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボリー			
ビニルパイプ・カラー ビニルパイプ（JIS管） ※4	V P 管		VP75	3000	KA2345C	KA2345TC	KA0345TC	KA3345TC	KAN345TC	KAT345TC	6,897円 (税抜6,270円)	8,635円 (税抜7,850円)	3
				4000	KA2344C	KA2344TC	KA0344TC	KA3344TC	KAN344TC	KAT344TC	8,371円 (税抜7,610円)	11,154円 (税抜10,140円)	
			VP100	3000	KA2355C	KA2355TC	KA0355TC	KA3355TC	KAN355TC	KAT355TC	10,153円 (税抜9,230円)	12,936円 (税抜11,760円)	2
				4000	KA2354C	KA2354TC	KA0354TC	KA3354TC	KAN354TC	KAT354TC	12,287円 (税抜11,170円)	16,665円 (税抜15,150円)	
	V U 管		VU75	4000	KA2364C	KA2364TC	KA0364TC	KA3364TC	—	KAT364TC	15,796円 (税抜14,360円)	21,241円 (税抜19,310円)	7
				3000	KA2245C	KA2245TC	KA0245TC	KA3245TC	KAN245TC	KAT245TC	3,388円 (税抜3,080円)	4,312円 (税抜3,920円)	
				4000	KA2244C	KA2244TC	KA0244TC	KA3244TC	KAN244TC	KAT244TC	4,103円 (税抜3,730円)	5,698円 (税抜5,180円)	

※4 カラービニルパイプは耐候性向上仕様(変色差保証対象外)、その他の部品(カラーDV継手、その他継手、排水管カバー)は一般仕様です。(塗装はご遠慮ください。)
●ビニルパイプ・カラービニルパイプは、JIS K6741規格品です。

品 名		略 図	サイズ (仕様)	品番・色						ビニルパイプ メーカー 希望小売価格	カラービニルパイプ メーカー 希望小売価格	バイブ 入数	
				ねずみ (ビニルパイプ)	グレー	ミルク ホワイト	シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボリー			入数	カラー バイブ 入数
DV継手・カラーDV継手	45° エルボ		75	KA2544C	KA2544TC	KA0544C	KA3544C	KAN544C	KAT544C	534円 (税抜485円)	770円 (税抜700円)	40	
			100	KA2554C	KA2554TC	KA0554C	KA3554C	KAN554C	KAT554C	1,034円 (税抜940円)	1,507円 (税抜1,370円)	20	
			125	KA2564C	KA2564TC	KA0564C	KA3564C	—	KAT564C	2,222円 (税抜2,020円)	3,168円 (税抜2,880円)	10	
	90° 大曲エルボ		75	KA2541C	KA2541TC	KA0541C	KA3541C	KAN541C	KAT541C	1,007円 (税抜915円)	1,463円 (税抜1,330円)	22	6
			100	KA2551C	KA2551TC	KA0551C	KA3551C	—	KAT551C	1,969円 (税抜1,790円)	2,838円 (税抜2,580円)	10	
			125	KA2561C	KA2561TC	KA0561C	KA3561C	—	KAT561C	3,553円 (税抜3,230円)	5,115円 (税抜4,650円)	5	
	ソケット		75	KA2840C	KA2840TC	KA0840C	KA3840C	KAN840C	KAT840C	374円 (税抜340円)	556円 (税抜505円)	70	
			100	KA2850C	KA2850TC	KA0850C	KA3850C	KAN850C	KAT850C	715円 (税抜650円)	1,045円 (税抜950円)	34	
			125	KA2860C	KA2860TC	KA0860C	KA3860C	—	KAT860C	1,452円 (税抜1,320円)	2,079円 (税抜1,890円)	14	

●DV継手・カラーDV継手は、JIS K6739規格品です。 ●DV継手・カラーDV継手はバラ出荷可能です。 ●一印の特注対応はお受けできません。

ビニルパイプ・カラービニルパイプ (JIS管)

品 名	略 図	サイズ (仕様)	品番・色					ビニルパイプ メーカー 希望小売価格	カラービニルパイプ メーカー 希望小売価格	ビニルパイプ 入数		
			ねずみ (ビニルパイプ)	グレー	ミルク ホワイト	シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボリー				
イン クリ ー ザ ー		100×75	KA2452C	KA2452TC	KA0452C	KA3452C	KAN452C	KAT452C	688円 (税抜625円)	990円 (税抜900円)	50	
		125×75※5	KA2461C	――	――	KA3461C	――	――	1,007円 (税抜915円)	1,430円 (税抜1,300円)	28	
		125×100	KA2462C	KA2462TC	――	KA3462C	――	――	1,007円 (税抜915円)	1,430円 (税抜1,300円)	25	
		150×75※5	KA2470C	――	――	KA3470C	――	――	1,573円 (税抜1,430円)	2,277円 (税抜2,070円)	20	
		150×100	KA2471C	――	――	KA3471C	――	――	1,573円 (税抜1,430円)	2,277円 (税抜2,070円)	20	4
		150×125	KA2472C	――	――	KA3472C	――	――	2,002円 (税抜1,820円)	2,882円 (税抜2,620円)	18	
90° Y D T		75	KA2040C	KA2040TC	KA0040C	KA3040C	KAN040C	KAT040C	880円 (税抜800円)	1,287円 (税抜1,170円)	24	
		100	KA2050C	KA2050TC	KA0050C	KA3050C	KAN050C	KAT050C	1,837円 (税抜1,670円)	2,640円 (税抜2,400円)	12	
		125	KA2060C	KA2060TC	KA0060C	KA3060C	――	KAT060C	3,399円 (税抜3,090円)	4,917円 (税抜4,470円)	6	
		75×50	KA2041C	KA2041TC	KA0041C	KA3041C	KAN041C	KAT041C	715円 (税抜650円)	1,045円 (税抜950円)	34	
		75×65	KA2042C	KA2042TC	KA0042C	KA3042C	KAN042C	KAT042C	715円 (税抜650円)	1,045円 (税抜950円)	30	
		100×50	KA2051C	KA2051TC	KA0051C	KA3051C	KAN051C	KAT051C	1,397円 (税抜1,270円)	1,980円 (税抜1,800円)	22	
		100×65	KA2052C	KA2052TC	KA0052C	KA3052C	KAN052C	KAT052C	1,397円 (税抜1,270円)	1,980円 (税抜1,800円)	16	
		100×75	KA2053C	KA2053TC	KA0053C	KA3053C	KAN053C	KAT053C	1,397円 (税抜1,270円)	1,980円 (税抜1,800円)	14	
		125×75※5	KA2062C	――	KA0062C	KA3062C	――	KAT062C	3,355円 (税抜3,050円)	4,433円 (税抜4,030円)	8	
		125×100※5	KA2063C	――	――	KA3063C	――	――	3,355円 (税抜3,050円)	4,433円 (税抜4,030円)	8	
		150×75※5	KA2071C	――	――	KA3071C	――	――	5,797円 (税抜5,270円)	8,338円 (税抜7,580円)	7	
		150×100※5	KA2072C	――	――	KA3072C	――	――	5,797円 (税抜5,270円)	8,338円 (税抜7,580円)	6	
45° Y Y		75	KA2140C	――	KA0140C	――	――	KAT140C	1,199円 (税抜1,090円)	1,760円 (税抜1,600円)	16	
			――	――	――	KA3140C	――	――	――	1,760円 (税抜1,600円)	――	4
		100	KA2150C	――	KA0150C	KA3150C	――	KAT150C	2,497円 (税抜2,270円)	3,575円 (税抜3,250円)	8	
		125	KA2160C	――	――	KA3160C	――	――	4,488円 (税抜4,080円)	9,625円 (税抜8,750円)	4	
		75×50	KA2141C	――	KA0141C	KA3141C	――	KAT141C	869円 (税抜790円)	1,265円 (税抜1,150円)	26	
		75×65	KA2142C	――	――	KA3142C	――	――	869円 (税抜790円)	1,265円 (税抜1,150円)	20	
		100×50	KA2151C	――	KA0151C	KA3151C	――	KAT151C	1,804円 (税抜1,640円)	2,618円 (税抜2,380円)	16	
		100×65	KA2152C	――	――	KA3152C	――	――	1,804円 (税抜1,640円)	2,618円 (税抜2,380円)	14	
		100×75	KA2153C	――	――	KA3153C	――	KAT153C	1,804円 (税抜1,640円)	2,618円 (税抜2,380円)	10	
		125×100	KA2164C	――	――	KA3164C	――	――	4,444円 (税抜4,040円)	6,413円 (税抜5,830円)	5	

※5.株式会社クボタケミックス規格品です。

●DV継手・カラーDV継手は、JIS K6739規格品です。 ●DV継手・カラーDV継手はバラ出荷可能です。 ●一印の特注対応はお受けできません。

掲載価格は希望小売価格です。工事費は含まれておりません。

ビニルパイプ・カラービニルパイプ (JIS管)

品 名	略 図	サイズ (仕様)	品 番・色					ビニルパイプ メーカー 希望小売価格	カラービニルパイプ メーカー 希望小売価格	ビ ニ ル パ イ プ 入 数	カ ラ ー ビ ニ ル パ イ プ 入 数	
			ねずみ (ビニルパイプ)	グレー	ミルク ホワイト	シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボリー				
DV継手・カラーDV継手		75	KA2640C	—	—	KA3640C	—	KAT640C	1,375円 (税抜1,250円)	2,002円 (税抜1,820円)	16	3
		100	KA2650C	—	—	—	—	KAT650C	2,662円 (税抜2,420円)	3,839円 (税抜3,490円)	8	
			—	—	—	KA3650C	—	—	—	3,839円 (税抜3,490円)	—	2
		125	KA2660C	—	—	KA3660C	—	—	4,455円 (税抜4,050円)	6,435円 (税抜5,850円)	4	
		75×50	KA2641C	KA2641TC	—	KA3641C	—	KAT641C	1,034円 (税抜940円)	1,507円 (税抜1,370円)	26	
		75×65	KA2642C	—	—	KA3642C	—	—	1,034円 (税抜940円)	1,507円 (税抜1,370円)	20	
		100×50	KA2651C	—	—	KA3651C	—	KAT651C	1,969円 (税抜1,790円)	2,838円 (税抜2,580円)	14	
		100×65	KA2652C	—	—	KA3652C	—	—	1,969円 (税抜1,790円)	2,838円 (税抜2,580円)	12	
		100×75	KA2653C	—	—	KA3653C	—	KAT653C	1,969円 (税抜1,790円)	2,838円 (税抜2,580円)	12	
		125×65	KA2662C	—	—	KA3662C	—	—	4,125円 (税抜3,750円)	5,973円 (税抜5,430円)	6	
		125×75	KA2663C	—	—	KA3663C	—	—	4,125円 (税抜3,750円)	5,973円 (税抜5,430円)	6	
		125×100	KA2664C	—	—	KA3664C	—	—	4,125円 (税抜3,750円)	5,973円 (税抜5,430円)	4	

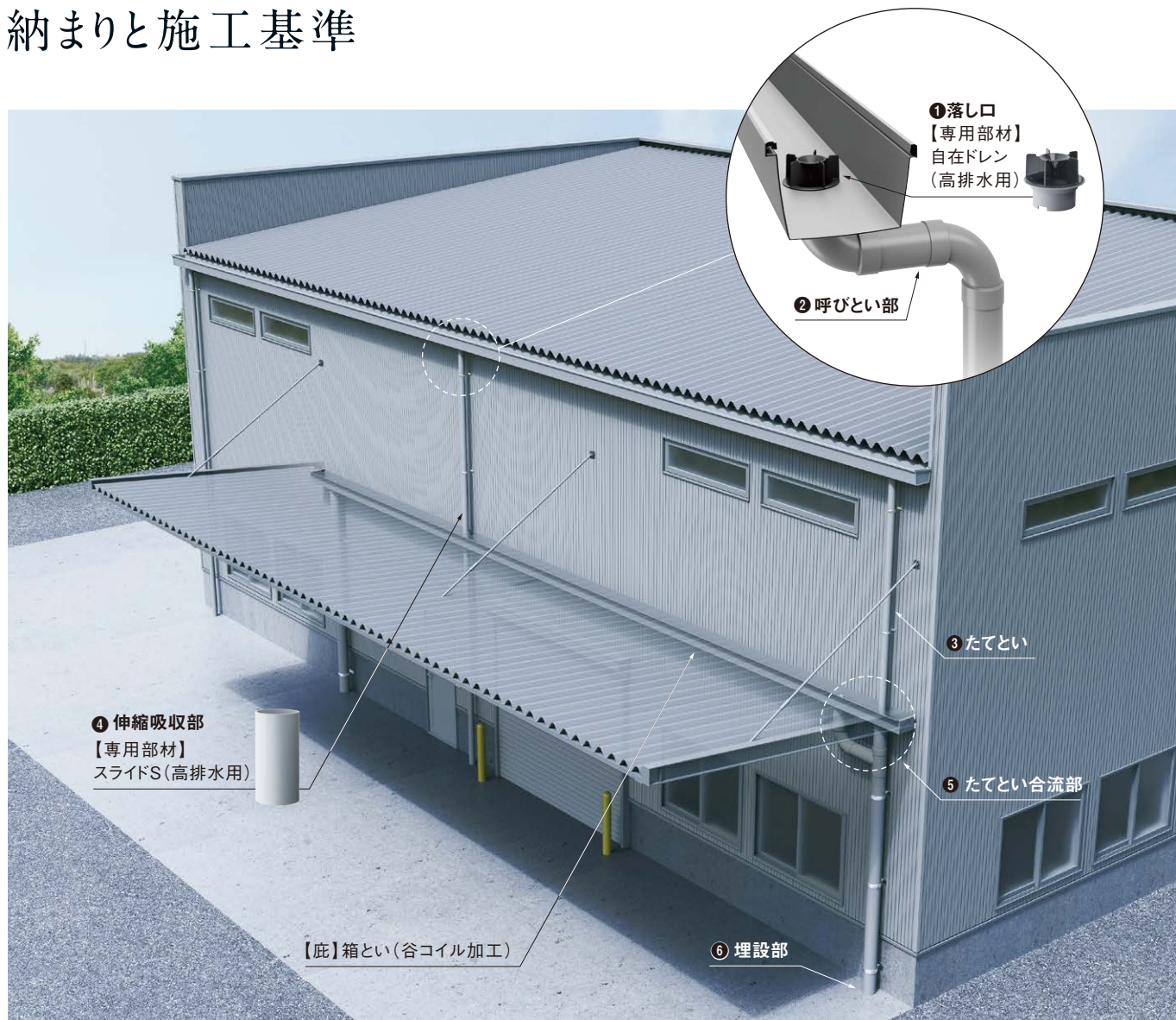
●DV継手・カラーDV継手は、JIS K6739規格品です。 ●DV継手・カラーDV継手はバラ出荷可能です。 ●一印の特注対応はお受けできません。

品 名		略 図	サイズ (仕様)	品番・色						ビニルパイプ メーカー 希望小売価格	カラービニルパイプ メーカー 希望小売価格	ビニルパイプ 入数	カラービニル パイプ入数
				ねずみ (ビニルパイプ)	グレー	ミルク ホワイト	シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボリー				
その他継手・カラーその他継手	スライドS (高排水用)		75	—	KA2843TCKH	KA0843CKH	KA3843CKH	KAN843CKH	KAT843CKH	—	3,003円 (税抜2,730円)	—	12
			100	—	KA2853TCKH	KA0853CKH	KA3853CKH	—	KAT853CKH	—	6,193円 (税抜5,630円)	—	12
			125	—	KA2863TCKH	KA0863CKH	KA3863CKH	—	KAT863CKH	—	8,668円 (税抜7,880円)	—	6
	Sソケット DVS S		75	KA2845C	KA28451TC	KA08451C	KA38451C	KAN8451C	KAT8451C	1,254円 (税抜1,140円)	2,255円 (税抜2,050円)	10	24
			100	KA2855C	KA28551TC	KA08551C	KA38551C	KAN8551C	KAT8551C	1,969円 (税抜1,790円)	3,168円 (税抜2,880円)	10	15
			125※1	KA2865C	—	—	—	—	—	3,047円 (税抜2,770円)	—	6	—
	差込ソケット ES・A		75〈B型〉	—	KA2842TC	KA0842C	KA3842C	KAN842C	KAT842C	—	3,663円 (税抜3,330円)	—	30
			100〈B型〉	—	KA2852TC	KA0852C	KA3852C	KAN852C	KAT852C	—	4,125円 (税抜3,750円)	—	15
			125〈A型〉	KA2862C	—	—	KA3862C	—	—	3,487円 (税抜3,170円)	5,027円 (税抜4,570円)	12	
	やりとりソケット ES・B		75	—	KA2844TC	KA0844C	KA3844C	KAN844C	KAT844C	—	4,554円 (税抜4,140円)	—	15
			100	—	KA2854TC	KA0854C	KA3854C	KAN854C	KAT854C	—	8,778円 (税抜7,980円)	—	9
			125	—	KA2864TC	KA0864C	KA3864C	—	KAT864C	—	11,682円 (税抜10,620円)	—	6

※1 東栄管機(株)製です。

●その他継手・カラーその他継手は株式会社クボタケミックス規格品です。 ●その他継手・カラーその他継手はバラ出荷可能です。 ●一印の特注対応はお受けできません。

納まりと施工基準



各部の設計・施工ポイント

高排水システムの設計・施工上のポイントを部位毎にまとめています。必ずお読みください。
お守りいただけない場合、排水能力が得られず、オーバーフローを引き起こすおそれがあります。

部 位	設計・施工上のポイント	詳細頁
① 落し口	落し口1か所あたりが負担する軒といの長さ ・ 片側15m以内 (両側30m以内) としてください ※ 落し口には自在ドレン (高排水用) をご使用ください	P.11
② 呼びとい部	自在ドレンとたてといの偏芯距離 ・ 偏芯距離は1m以内にしてください	P.12
③ たてとい	パイプ (JIS管) の垂直部 (ストレート部) の長さ ・ VP・VU75の場合: 長さ3m以上を確保 ・ VP100の場合: 長さ6m以上を確保 ・ VP125の場合: 長さ8m以上を確保	P.12
④ 伸縮吸収部	伸縮吸収部にはスライドS (高排水用) をご使用ください	P.13
⑤ 庇軒といとの取り合い部	施工パターン	P.14
	枝管から合流させる方法 / 貫通部から合流させる方法	P.15
	大屋根の排水と庇の排水をそれぞれ独立して排水させる方法	P.17
⑥ 埋設部	地中埋設部の設計ポイントについて	P.18

各部の設計・施工ポイント

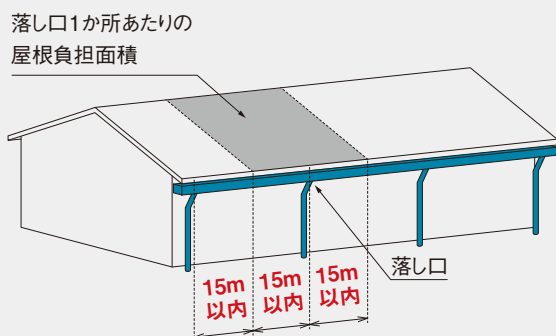
① 落し口の設計・施工

落し口には自在ドレン（高排水用）をご使用ください。

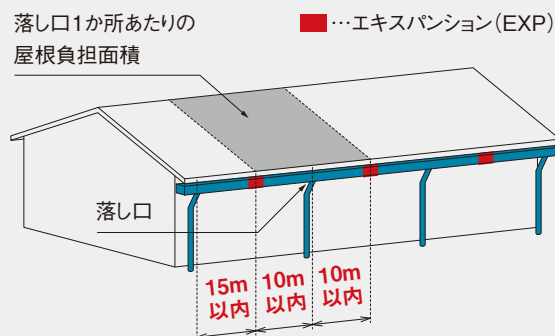
落し口からの離隔距離について

落し口1か所あたりで負担する軒とい長さ（最大離隔距離）は片側15m以内（両側30m以内）にしてください。

（例）エアロアイアン 伸縮継手使用時



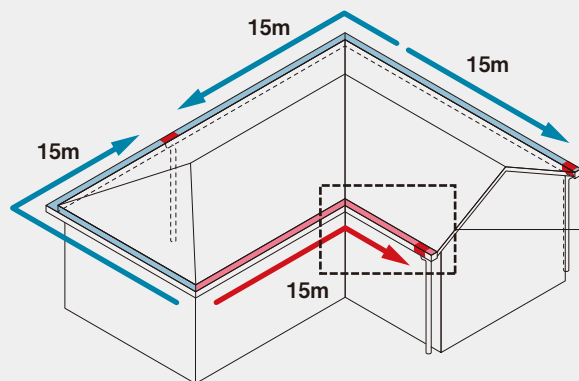
（例）谷コイル エキスパンション使用時



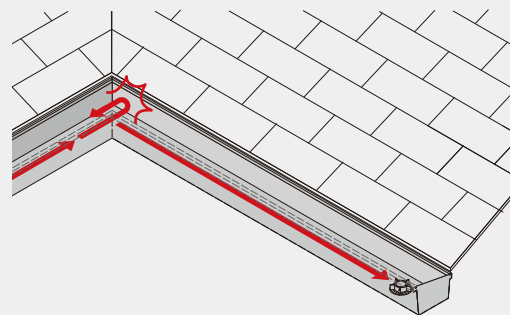
※離隔距離は落し口より片側15m（両側30m）までですが、軒とい熱伸縮対策（伸縮継手、エキスパンション）は20m以内に1か所必要となり、離隔距離、伸縮対策の両条件が確保されるよう設計ください。

内・外曲りを含む場合の注意点

- ・落し口に対し、両側から雨水が流入する形であれば離隔距離のみ考慮してください。
- ・片側から流れ込まない納まりの場合、曲り部分が1か所以上あるとオーバーフローするおそれがあります。



両側から落し口に流れ込む納まりは曲りの無い納まりと同等の考え方で。



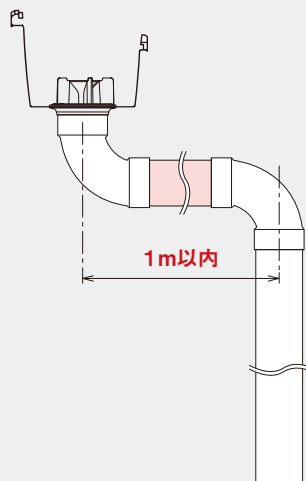
片側から落し口に流れ込む納まりの場合、曲り部分で流速が減少しオーバーフローするおそれがあります。よって、排水可能な屋根投影面積を2/3の面積として考えます。

② 呼びとい部の偏芯距離について

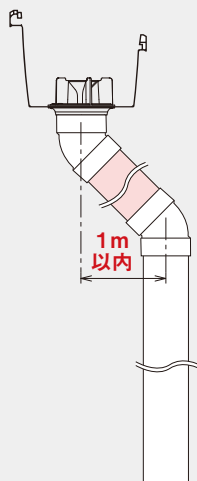
自在ドレンとたてといの偏芯距離は**1m以内**にしてください。

自在ドレンとたてといの偏芯距離

90°大曲エルボ LL

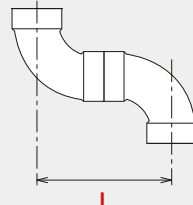


45°エルボ 45L

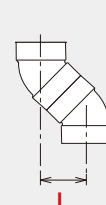


最小偏芯距離

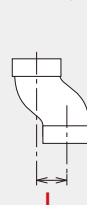
90°大曲エルボ LL



45°エルボ 45L



Sソケット
(VUSソケット)



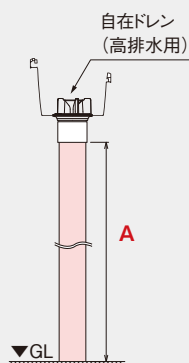
パイプ (JIS管) サイズ毎の最小偏芯距離

サイズ	L (mm)		
	90°大曲エルボ LL	45°エルボ 45L	Sソケット (VUSソケット)
高排水VP・VU75	280	92	45
高排水VP100	356	113	57
高排水VP125	410	146	70

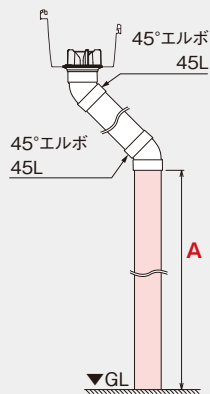
③ たてといの長さについて

たてといの最小長さは(ストレート部分)はサイズ毎に設定した長さをお守りください。

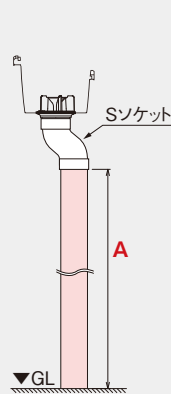
埋設管まで



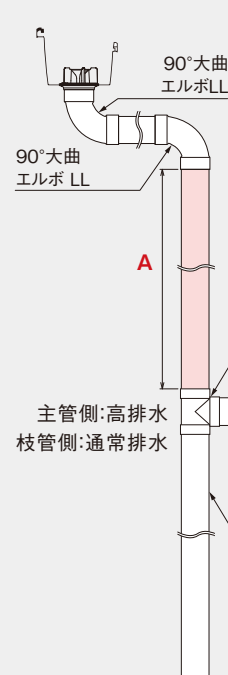
埋設管まで



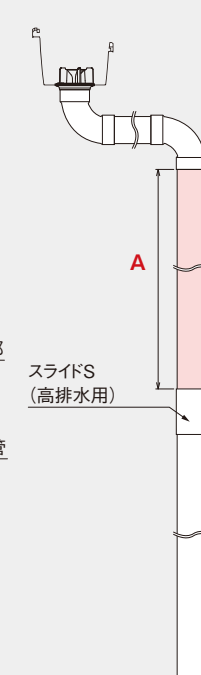
埋設管まで



合流部まで



スライドSまで



パイプ (JIS管) の垂直部 (ストレート部) の長さ

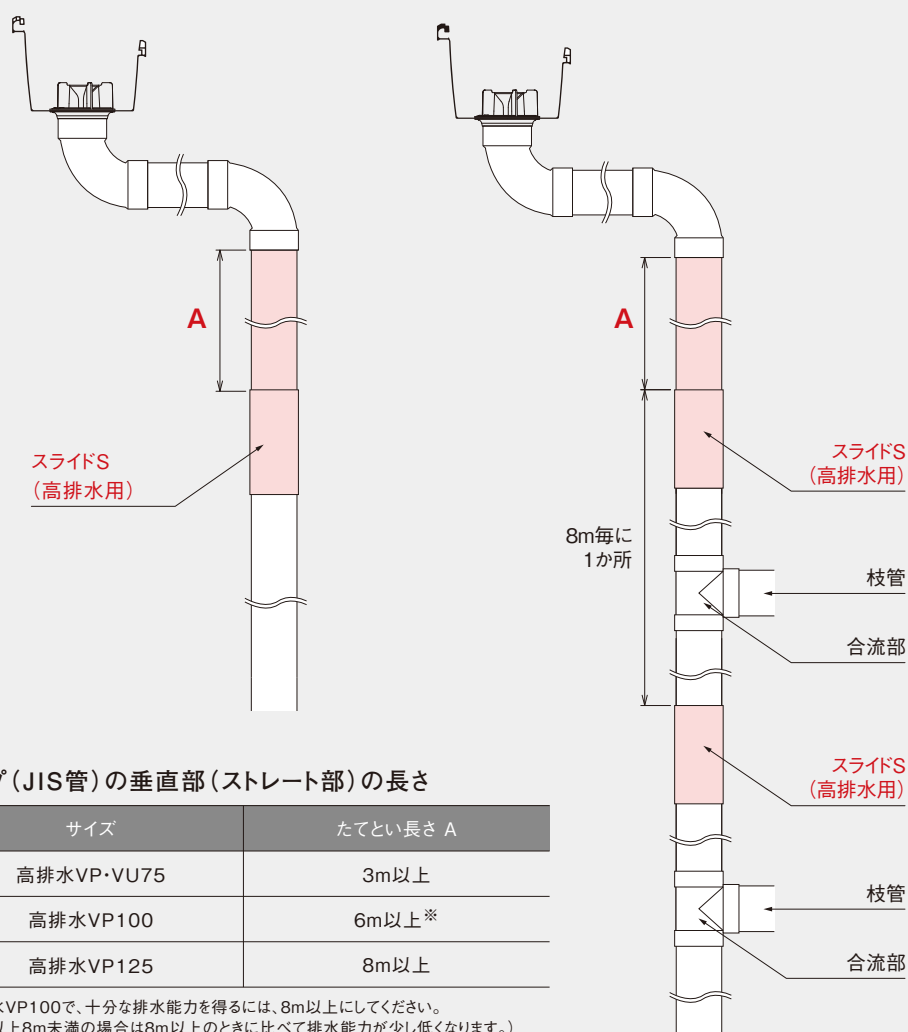
サイズ	たてとい長さ A
高排水VP・VU75	3m以上
高排水VP100	6m以上※
高排水VP125	8m以上

※高排水VP100で、十分な排水能力を得るには、8m以上にしてください。
(6m以上8m未満の場合は8m以上のときに比べて排水能力が少し低くなります。)

各部の設計・施工ポイント

④ 伸縮吸収部について

- ・伸縮吸収には**8m毎に1か所**、スライドS(高排水用)をご使用ください。
- ・自在ドレンから最上部のスライドS(高排水用)までの高さは所定のたてといの長さをお守りください。(下図A部)
- ・排水管カバーは伸縮吸収部材として使用できません。(雨水が飛散するおそれがあります)



パイプ(JIS管)の垂直部(ストレート部)の長さ

サイズ	たてとい長さ A
高排水VP・VU75	3m以上
高排水VP100	6m以上※
高排水VP125	8m以上

※高排水VP100で、十分な排水能力を得るには、8m以上にしてください。
(6m以上8m未満の場合は8m以上のときに比べて排水能力が少し低くなります。)

高排水システムで使用可能な伸縮吸収部材



使用不可



5 庇軒といとの取り合い部

施工パターン

高排水システムのたてといの経路上に庇がある場合、大屋根、庇からの雨水を排水する方法として以下の3パターンの施工方法でご対応いただけます。

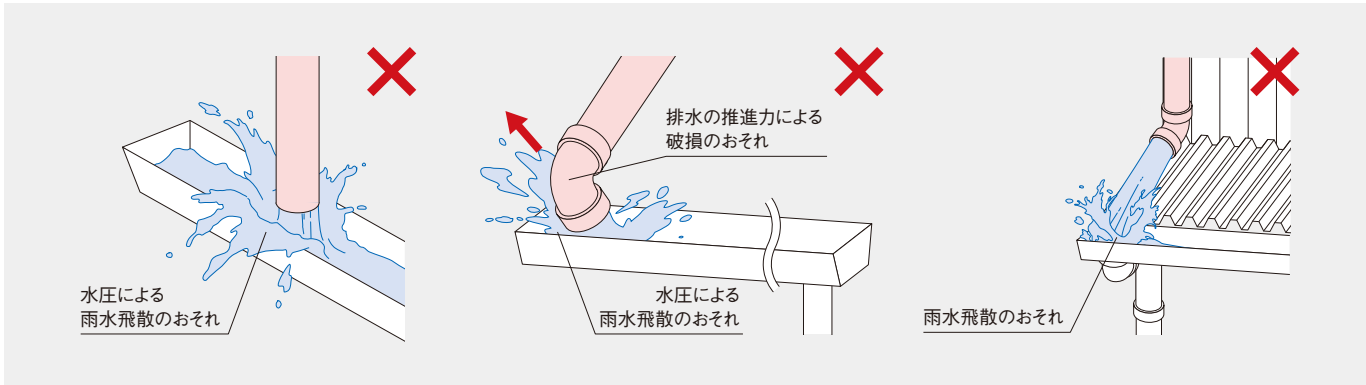
排水能力計算の上、設置可能な納まりをお選びください。



	A 枝管から合流させる方法	B 貫通部から合流させる方法	C 大屋根の排水と庇の排水をそれぞれ独立して排水させる方法
概略	<p>高排水 通常排水</p> <p>庇の排水を枝管から合流させます。</p>	<p>高排水 通常排水</p> <p>庇の排水をたてとい貫通部から合流させます。</p>	<p>高排水 通常排水</p> <p>大屋根の排水と庇の排水をそれぞれ独立して排水させます</p>
特長	<p>排水経路が最もスムーズです。 (推奨パターンです。) 庇下で枝管の配管が必要です。</p>	<p>庇下の配管スペースが狭いときに有効です。 庇より下の配管径が大きくなります。</p>	<p>大屋根～庇の距離が短いときに有効です。 庇より下の配管が増えます。</p>

注意事項

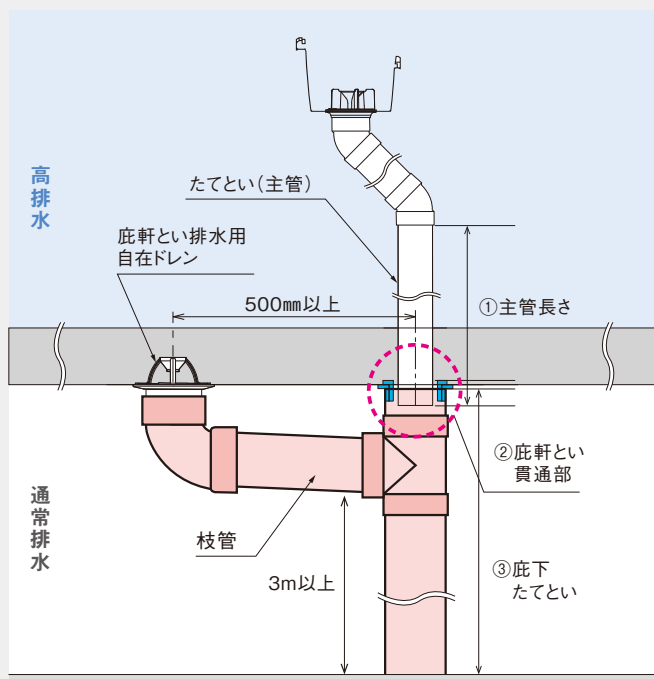
高排水システムの排水は高水圧となるため、庇の屋根面や軒樋に直接排水させたり、はいとい等で納めた場合にといの外に雨水が飛散するおそれがあります。



各部の設計・施工ポイント

⑤ 底軒といとの取り付け部

A 枝管から合流させる方法

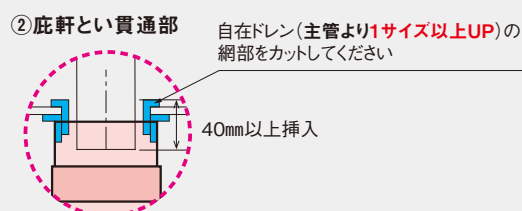


① 主管長さ

サイズ	たてとい長さ A
高排水VP・VU75	3m以上
高排水VP100	6m以上※
高排水VP125	8m以上

※高排水VP100で、十分な排水能力を得るには、8m以上にしてください。
(6m以上8m未満の場合は8m以上のときに比べて排水能力が少し低くなります。)

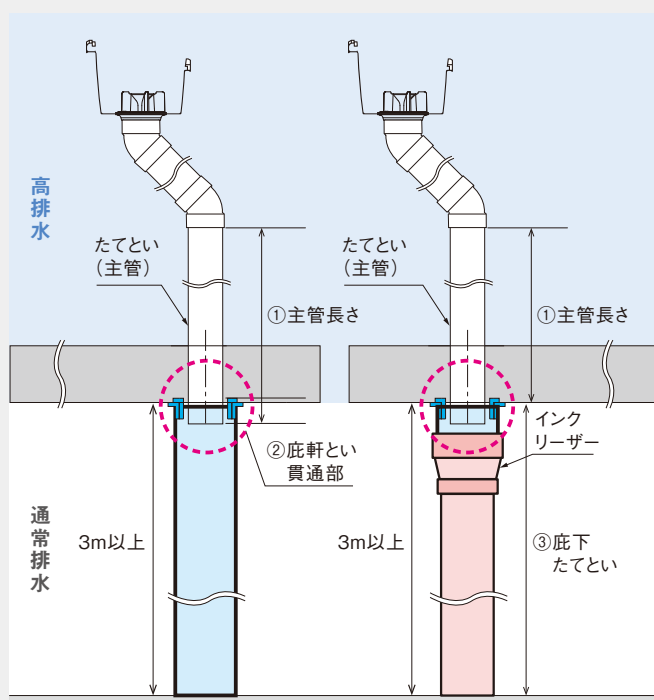
② 底軒とい貫通部



③ 底下たてとい

たてとい主管径<底下たてとい径となるように
排水能力計算により適切なサイズを設定ください。

B 貫通部から合流させる方法

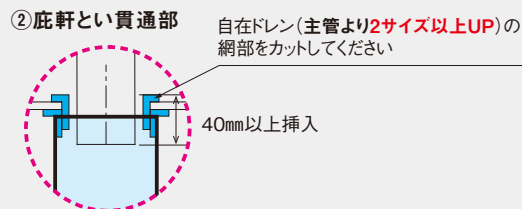


① 主管長さ

サイズ	たてとい長さ A
高排水VP・VU75	3m以上
高排水VP100	6m以上※
高排水VP125	8m以上

※高排水VP100で、十分な排水能力を得るには、8m以上にしてください。
(6m以上8m未満の場合は8m以上のときに比べて排水能力が少し低くなります。)

② 底軒とい貫通部



③ 底下たてとい

たてとい主管径<底下たてとい径となるように
排水能力計算により適切なサイズを設定ください。
主管より1サイズUPの場合は、インクリーザーを使用してください。

排水能力計算（A,B共通）

主管、枝管、底下たてといの径は以下に基づいて決定してください。

- 大屋根と庇の排水が合流後、主管の高排水システムの排水能力を超えないようにしてください。
- 主管の排水量は枝管の排水量の2倍以上になるようにバランスをとってください。取れない場合、庇軒といから下流側は通常排水の排水能力で計算してください。
- 庇～合流部の排水能力は通常排水として計算してください。

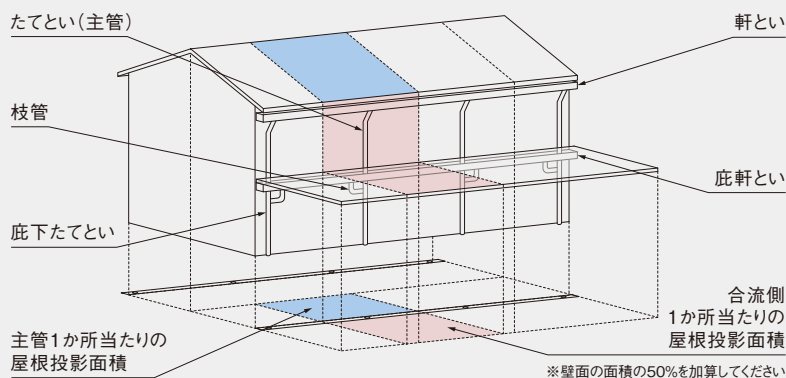
屋根面積に対するたてとい径早見表

合流側1カ所あたりの屋根負担面積[m] [※]		主管1カ所あたりの屋根負担面積[m] [※]														
		100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
100	主管径	75	75	75	100	100	100	100	125	125	125	125	125	125	125	125
	枝管径	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	底下たてとい径	125	150	100	125	125	125	125	150	150	150	150	150	150	150	150
200	主管径	75	75	100	100	—	100	125	125	125	125	125	125	125	125	—
	枝管径	125	125	125	125	—	125	125	125	125	125	125	125	125	125	—
	底下たてとい径	150	200	200	200	—	125	150	150	150	150	150	150	150	150	—
300	主管径	100	100	100	—	—	—	—	125	125	125	125	125	125	—	—
	枝管径	150	150	150	—	—	—	—	150	150	150	150	150	150	—	—
	底下たてとい径	200	200	200	—	—	—	—	150	150	150	150	150	150	—	—
400	主管径	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	125	—	—	—	—
	枝管径	200	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200	—	—	—	—
	底下たてとい径	200	200	—	—	—	—	—	—	—	—	200	—	—	—	—

※屋根面積は降雨強度160mm/hで算出したものです。その他の降雨強度に対しては、「該当地域の降雨強度/160」を乗じた屋根面積の欄を参照ください。

<表の見方>

- ①建物の図面より、大屋根(主管)と庇(合流側)それぞれの「落し口1カ所あたりの屋根投影面積S」を求めます。
- ②上表の「主管1カ所あたりの屋根負担面積」からS以上の列を選択し、同様に「合流側1カ所あたりの屋根負担面積」から行を選択します。
- ③交差するマスに記載の主管、枝管、底下たてといのサイズとしてください。Bの場合は主管と底下たてといの欄のみご参照ください。



注) 当該する屋根に接して立ち上がる大きな外壁面がある建物で、近接して他の建物がなく、斜めに降る雨を外壁面全面に受けるような場合(立体駐車場など)は、雨が垂直面と30°の角度で吹きつけるものとして、その外壁面の面積の50%を屋根投影面積に加算します。

- 軒といの排水能力は別途計算や排水能力表でご確認ください。
- 管径の記載のない組み合わせは排水能力を満足しません。落し口を増やして対応ください。
- 上表の管径は以下の条件で算出しています。
 - ・降雨強度: 160mm/h
 - ・VP100高排水はたてとい長さ6m時の排水能力を採用
 - ・庇軒といは谷といとして扱い、降雨強度を1.25倍とする
 - ・庇軒とい高さ: 150mm

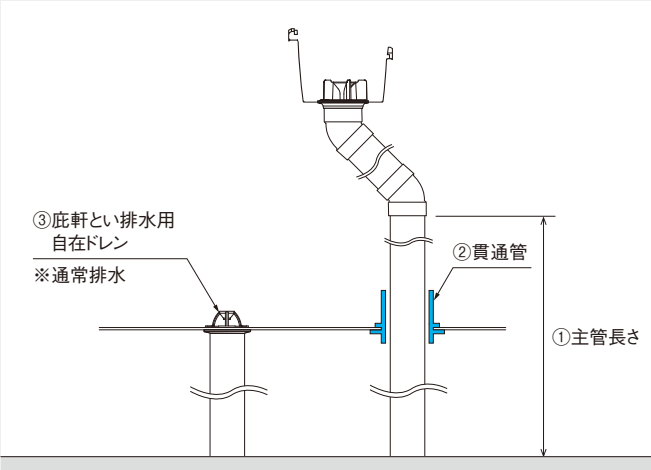


任意の条件で計算する場合、より詳しい計算手順をホームページにてご確認ください。

各部の設計・施工ポイント

⑤ 庇軒といとの取り付け部

C 大屋根の排水と庇の排水をそれぞれ独立して排水させる方法



① 主管長さ

サイズ	たてとい長さ A
高排水VP・VU75	3m以上
高排水VP100	6m以上※
高排水VP125	8m以上

※高排水VP100で、十分な排水能力を得るには、8m以上にしてください。
(6m以上8m未満の場合は8m以上のときに比べて排水能力が少し低くなります。)

② 貫通管
貫通管にたてといを通して庇軒といを貫通させてください

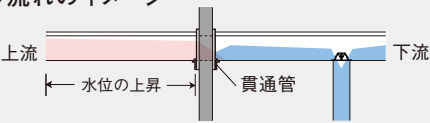
③ 庇軒とい排水
主管とは別に通常排水で排水してください

貫通管の上流側では軒とい内の水位が上昇します。
庇軒といの排水能力計算時は安全率を3として(庇軒といの排水能力を従来の1/2として)計算してください。

貫通管無しの流れのイメージ



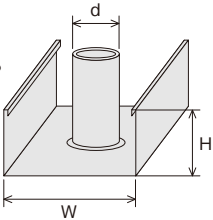
貫通管有りの流れのイメージ



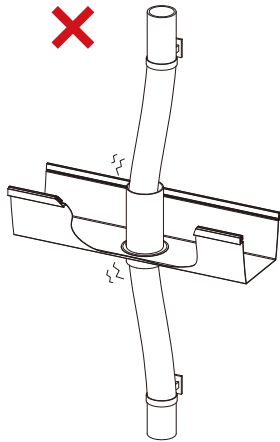
貫通管使用時の軒とい排水能力早見表

貫通管設置時の、各部の寸法に対する排水能力は下表のようになります。

- の数値が、軒とい、たてとい組み合わせによる排水能力となります。
- 下表の排水能力は、水勾配5/1000での値です。
- 貫通管との組合せにより大屋根からの高排水と合流する場合、下屋の排水能力は本表の数値を参考に設定してください。
(合流時のシステム全体の排水能力の考え方は、P.16をご参照ください。)



■ たてといの位置ズレにご注意ください。

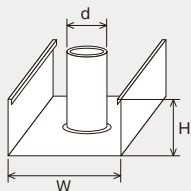


注意
たてといと貫通管の位置がズレると、軒といの伸縮を阻害し、軒といの破損に繋がるおそれがあります。

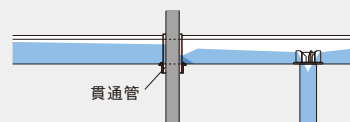
※各数値は、大型建造物用雨仕舞商品 技術・施工資料にも掲載の排水能力の計算式に基づいて計算した値です。

注意事項

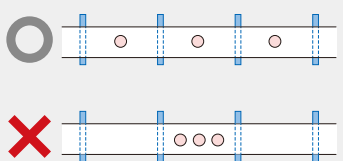
	貫通管外径 d	軒とい底幅 W※推奨値	深さ H
VP・VU75用 貫通管	114mm	200mm以上	150mm以上
VP100用 貫通管	140mm	250mm以上	200mm以上
VP125用 貫通管	165mm	300mm以上	250mm以上



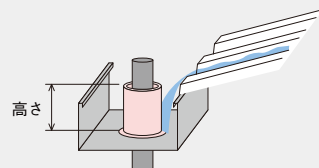
- 自在ドレン（高排水用）との隣接設置はできません。



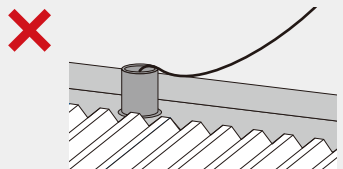
- 支持金具の間に2個以上の貫通管を設置しないでください。軒といの強度が低下し、破損のおそれがあります。



- 屋根からの雨水が、貫通管の上部から浸入しない高さ・位置に施工してください。

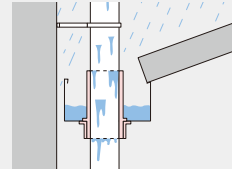


- 貫通管に、たてとい以外のものを通さないでください。



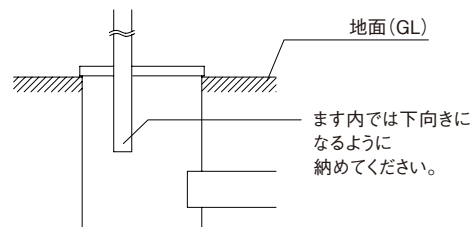
- 熱伸縮対策のため、貫通管と内部のたてといには隙間を設けています。

- 貫通管内を伝って雨水が底下に落ちることがあります。



⑥ 埋設部の設計ポイント注意事項

ます部の接続、および埋設管について地中ますや埋設管のサイズは、下表の通り落し口1か所あたりの排水量に応じたものを設定してください。（通常排水でも、高排水でも埋設管の径や、ます容量は変わりません。）高排水システムにより流量、流速がアップするため、ます内部で跳ねる雨水が外に飛び出さないように納めてください。



埋設管の設計・工事をされる設備業者様に、排水の勢いが強い高排水システムを採用するため、雨水が外に跳ね上がらないように排水ますの設定など、埋設部の納まりにもご注意ください必要がある旨をお伝えください。

参考：雨水排水横管径の決定 [SHASE-S 206-2019 給排水衛生設備標準・同解説(空気調和・衛生工学会規格)より]

雨水横枝管・雨水横主管及び敷地雨水管の管径は、以下の表によって選定する。

雨水横管の管径※1

管径 [A]	許容最大屋根面積 (m ²) ※2 ※3								
	配管勾配								
	1/25	1/50	1/75	1/100	1/125	1/150	1/200	1/300	1/400
65	137	97	79	-	-	-	-	-	-
75	201	141	116	100	-	-	-	-	-
100	-	306	250	216	193	176	-	-	-
125	-	554	454	392	351	320	278	-	-
150	-	904	738	637	572	552	450	-	-
200	-	-	1590	1380	1230	1120	972	792	688
250	-	-	-	2490	2230	2030	1760	1440	1250
300	-	-	-	-	3640	3310	2870	2340	2030
350	-	-	-	-	-	5000	4320	3530	3060
400	-	-	-	-	-	-	6160	5040	4360

※1 都市の下水道条例が適用される地域においては、その条例の基準に適合させなければならない。 ※2 屋根面積は、すべて水平に投影した面積とする。

※3 許容最大屋根面積は、雨量100mm/hを基礎として算出したものである。したがって、記載以外の雨量に対しては、表の数値に“100/該地域の最大雨量”を乗じて算出する。
なお、流速が0.6m/s未満または1.5m/sを超えるものは好ましくないので除外してある。

排水能力

高排水システムのたてとい最大排水量は以下の通りです。

軒とい、たてとい組み合わせによる排水能力は軒とい排水能力とたてとい排水能力の内小さい方を採用してください。

たてとい サイズ	最大排水能力 (L/s)	地域別降雨強度での落し口1か所当たりの適応屋根投影面積			
		降雨強度 160mm/hの時	降雨強度 140mm/hの時	降雨強度 120mm/hの時	降雨強度 100mm/hの時
VP75(高排水)	18.3	411㎡以下	470㎡以下	549㎡以下	658㎡以下
VU75(高排水)	21.5	483 ♫	552 ♫	645 ♫	774 ♫
VP100(高排水)	41.4	931 ♫	1064 ♫	1242 ♫	1490 ♫
	46.8※	1053 ♫ ※	1203 ♫ ※	1404 ♫ ※	1684 ♫ ※
VP125(高排水)	76.7	1725 ♫	1972 ♫	2301 ♫	2761 ♫

※パイプ(JIS管)の垂直部(ストレート部)の長さが8m以上の場合です。

軒とい容量・排水能力

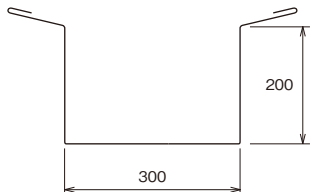
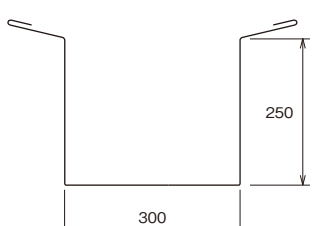
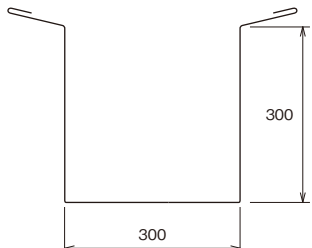
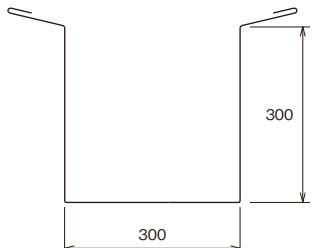
地域別降雨強度160、140、120、100mm/hを採用し、水勾配5/1000の標準の時

品 種	名称・ サイズ	軒 とい 形状・寸法(単位: mm)	たてとい サイズ	軒とい、たてとい 組み合わせによる 排水能力(L/s)	地域別降雨強度での落し口1か所当たりの適応屋根投影面積			
					降雨強度 160mm/hの時	降雨強度 140mm/hの時	降雨強度 120mm/hの時	降雨強度 100mm/hの時
エ ア ロ ア イ ア ン 前 高	130 WIDE		VP・VU75(高排水)	5.5	123㎡以下	141㎡以下	165㎡以下	198㎡以下
			VP・VU75	3.7	83 ♫	95 ♫	111 ♫	133 ♫
	165 WIDE		VP・VU75(高排水)	11.7	263 ♫	300 ♫	351 ♫	421 ♫
			VP・VU75	4.3	96 ♫	110 ♫	129 ♫	154 ♫
	200 WIDE		VP75(高排水)	18.3	411 ♫	470 ♫	549 ♫	658 ♫
			VU75(高排水)	21.5	483 ♫	552 ♫	645 ♫	774 ♫
			VP・VU75	4.8	108 ♫	123 ♫	144 ♫	172 ♫
			VP100(高排水)	22.4	504 ♫	576 ♫	672 ♫	806 ♫
			VP・VU100	8.0	180 ♫	205 ♫	240 ♫	288 ♫
			VP125(高排水)	22.4	504 ♫	576 ♫	672 ♫	806 ♫
			VP・VU125	12.6	283 ♫	324 ♫	378 ♫	453 ♫
エ ア ロ ア イ ア ン 折 版	150 I型		VP・VU75 (高排水)	10.1	227 ♫	259 ♫	303 ♫	363 ♫
			VP・VU75	4.3	96 ♫	110 ♫	129 ♫	154 ♫
	150 II型		VP・VU75 (高排水)	14.0	315 ♫	360 ♫	420 ♫	504 ♫
			VP・VU75	4.8	108 ♫	123 ♫	144 ♫	172 ♫
	200 I型		VP75(高排水)	18.3	411 ♫	470 ♫	549 ♫	658 ♫
			VU75(高排水)	20.5	461 ♫	527 ♫	615 ♫	738 ♫
			VP・VU75	4.8	108 ♫	123 ♫	144 ♫	172 ♫
			VP100(高排水)	20.5	461 ♫	527 ♫	615 ♫	738 ♫
			VP・VU100	8.0	180 ♫	205 ♫	240 ♫	288 ♫
			VP125(高排水)	20.5	461 ♫	527 ♫	615 ♫	738 ♫
			VP・VU125	12.6	283 ♫	324 ♫	378 ♫	453 ♫

※折版120I型は対応しておりません。

谷コイル容量・排水能力

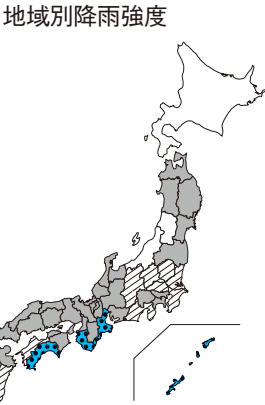
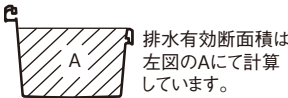
地域別降雨強度160、140、120、100mm/hを採用し、水勾配5/1000の標準の時

軒 と い			たてとい サイズ	軒とい、たてとい 組み合わせによる 排水能力(L/ｓ)	地域別降雨強度での落し口1か所当たりの適応屋根投影面積				
品 種	名称・ サイズ	形状・寸法(単位：mm)			排水能力 (L/ｓ)	降雨強度 160mm/hの時	降雨強度 140mm/hの時	降雨強度 120mm/hの時	降雨強度 100mm/hの時
谷 コ イ ル	W300×H200		48.2	VP75 (高排水)	18.3	411㎡以下	470㎡以下	549㎡以下	658㎡以下
				VU75 (高排水)	21.5	483 〃	552 〃	645 〃	774 〃
				VP100 (高排水)	41.4	931 〃	1064 〃	1242 〃	1490 〃
					46.8※	1053 〃 ※	1203 〃 ※	1404 〃 ※	1684 〃 ※
				VP・VU100	9.3	209 〃	239 〃	279 〃	334 〃
				VP125 (高排水)	48.2	1084 〃	1239 〃	1446 〃	1735 〃
	W300×H250		64.2	VP75 (高排水)	18.3	411 〃	470 〃	549 〃	658 〃
				VU75 (高排水)	21.5	483 〃	552 〃	645 〃	774 〃
				VP100 (高排水)	41.4	931 〃	1064 〃	1242 〃	1490 〃
					46.8※	1053 〃 ※	1203 〃 ※	1404 〃 ※	1684 〃 ※
				VP・VU100	10.4	234 〃	267 〃	312 〃	374 〃
				VP125 (高排水)	64.2	1444 〃	1650 〃	1926 〃	2311 〃
	W300×H300		80.6	VP75 (高排水)	18.3	411 〃	470 〃	549 〃	658 〃
				VU75 (高排水)	21.5	483 〃	552 〃	645 〃	774 〃
				VP100 (高排水)	41.4	931 〃	1064 〃	1242 〃	1490 〃
					46.8※	1053 〃 ※	1203 〃 ※	1404 〃 ※	1684 〃 ※
				VP・VU100	11.4	256 〃	293 〃	342 〃	410 〃
				VP125 (高排水)	76.7	1725 〃	1972 〃	2301 〃	2761 〃
				80.6	VP・VU125	17.8	400 〃	457 〃	534 〃

※パイプ(JIS管)の垂直部(ストレート部)の長さが8m以上の場合です。

降雨強度とは

降雨強度(mm/h)は、1時間当たりの降雨量をいいます。
右の図に示した地域別降雨強度は、気象庁発行の「日本の気候表」の中に掲載されている10分間降雨量から、5～6年に1度位現れる程度の特別な豪雨を除いた降雨量を基準として、1時間当たりに換算したものです。



地域別降雨強度	160mm/h	140mm/h	120mm/h	100mm/h
凡 例				
該当 都道府県名	三重、和歌山 高知、鹿児島 沖縄	茨城、千葉 栃木、群馬 埼玉、長野 静岡、愛媛 福岡、佐賀 長崎、宮崎	青森、岩手、秋田、 宮城、福島、東京、 神奈川、山梨、 富山、石川、福井、 岐阜、愛知、滋賀、 京都、大阪、奈良、 兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、 徳島、香川、大分、 熊本	北海道、山形 新潟

◎「軒とい、たてとい組み合わせによる排水能力」は、
軒といの排水能力とたてといの排水能力のうち、小さい方の能力をとっています。
◎軒といとたてといでは一部カラーバリエーションが異なります。

施工手順

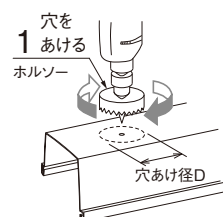
自在ドレン(高排水用)の取り付け

- 1 軒とい、谷コイルのドレンを取り付ける位置にエグリバサミまたはホルソーで穴をあける。
穴あけ径は下表の通りとしてください。

【エグリバサミの場合】



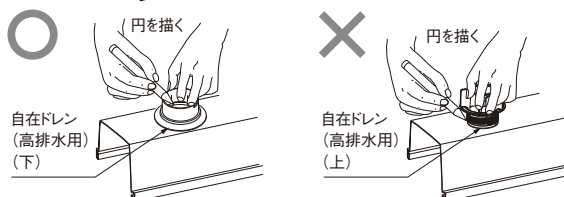
【ホルソーの場合】



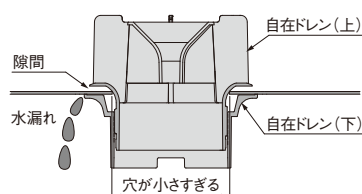
自在ドレン サイズ	穴あけ径 D
VP・VU75用	φ97mm
VP100用	φ124mm
VP125用	φ151mm

ポイント

- 円を描くときは、コンパスの他に、自在ドレン(下)の内側やDV継手の接合部外径を使用することができます。ドレン(上)を使用して描くと穴が小さく嵌りませんのでご注意ください。

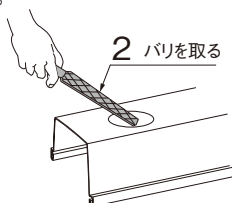


- 穴が小さすぎる場合、ドレンが浮いて隙間があくため水漏れのおそれがあります。穴あけ後、一度ドレンを締め込んで隙間ができないか確認してください。



- 自在ドレンのツバの外径に対して軒とい底幅に余裕がない場合は、軒といの中央に穴をあけてください。中央からずれると、自在ドレン(上)のツバと軒といに隙間があくため、水漏れのおそれがあります。

- 2 加工部分のバリをきれいに取り、隙間が出ないようにする。
(水漏れ防止のため)

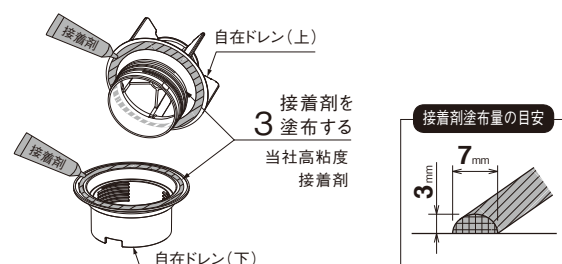


お願い

バリで隙間があくと水漏れのおそれがあります。

【大型雨といエアロアイアンに使用する場合】

- 3 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社高粘度接着剤KQ8815)



お願い

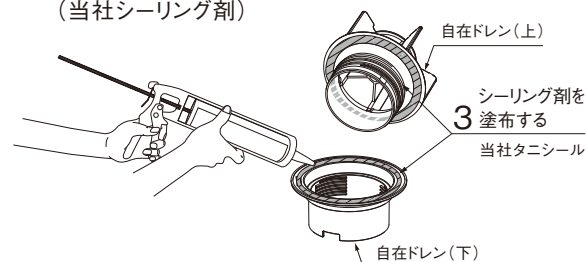
当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。当社品でも、塗布量が多すぎると変形、割れが発生することがあります。

【谷コイルに使用する場合】

- 2-2 穴の切断面はバリをきれいに取った後、補修液を塗布して防食処理をする。



- 3 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面にタニシールを全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社シーリング剤)



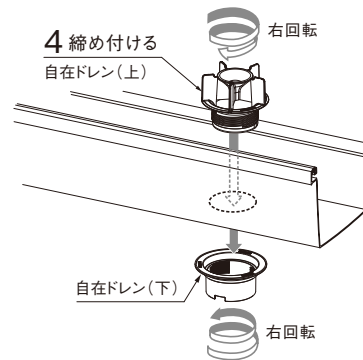
注意



谷コイルのシール面には、必ず専用の「タニシール」を使用する
市販のシーリング剤は密着しにくく、水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

4 自在ドレン(上)と自在ドレン(下)で 排水口の穴をはさみ、ドレンを充分締め付ける。

※自在ドレン(高排水用)とエルボなどのカン合部は、
高排水時の圧力に対応する設計にしているため、
カン合が固い場合があります。

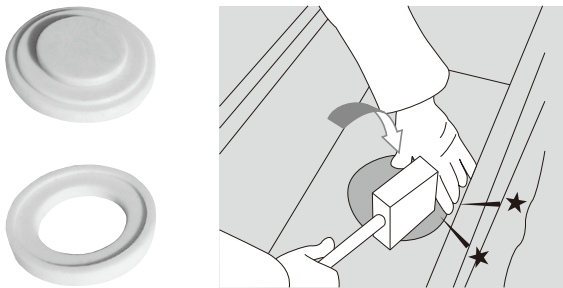


【ご参考：ドレン^{ボコ}凹ター】

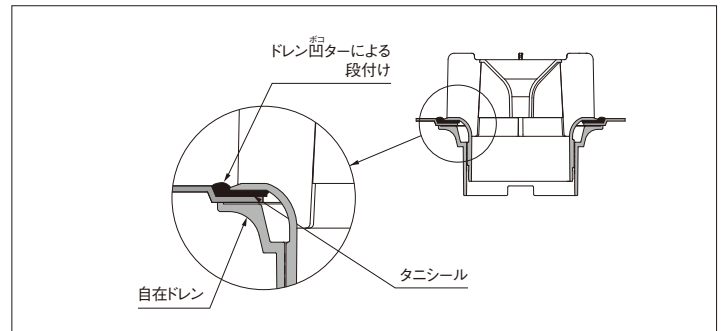
当社は、谷コイル専用の段付け加工治具、「ドレン^{ボコ}凹ター」を特注で製作しています。自在ドレン落し口の外周に段付けすることで谷コイルの底面と自在ドレンのツバが同じ高さになるため、水の流れがスムーズになり、自在ドレンの周囲に残り水、ごみ、泥などがたまりにくくなります。

※大型雨といエアロアイアンやレザードコイルにはご使用いただけません。

ドレン^{ボコ}凹ターによる段付け方法



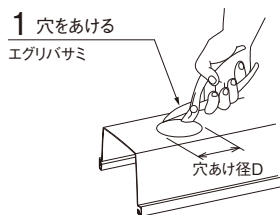
施工手順1の穴あけ加工の後、ドレン^{ボコ}凹ターで落し口穴の外周に
段付けて木づちでたたきます。その後は施工手順2～4と同じです。



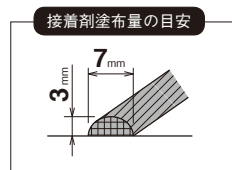
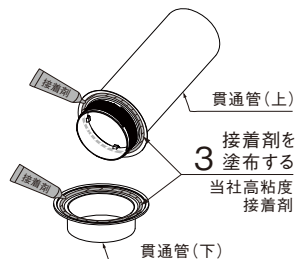
※詳細は、ケイミュー(株)営業所までお問い合わせください。

貫通管の施工

■自在ドレン(高排水用)の施工手順 P.21と
同様の手順で作業を行ってください。



貫通管 サイズ	穴あけ径 D
VP・VU75用	φ116mm
VP100用	φ129mm
VP125用	φ166mm



お願い

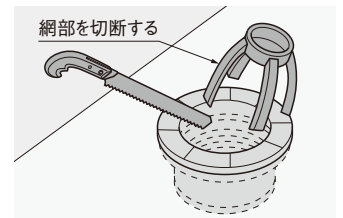
- 当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 谷コイルに施工する場合は、必ず専用の「タニシール」を使用してください。

庇軒といにたてといを挿入する手順

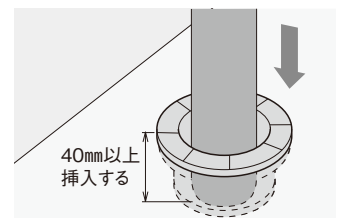
1 従来通り自在ドレンを
施工する。



2 ニッパー、のこぎりなど
で自在ドレンの網部を
切断する。



3 自在ドレンの中にたて
といを40mm以上挿入
し、たてとい上部を接続
する。

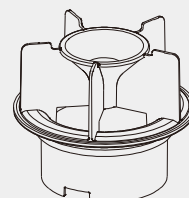
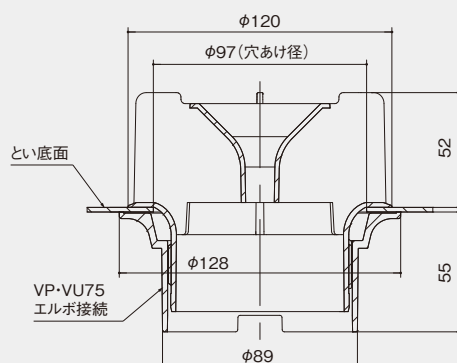


製品図面(専用部材)

単位:mm

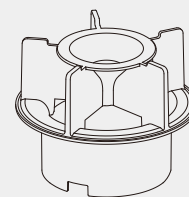
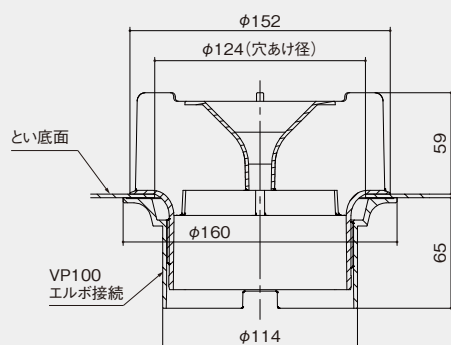
自在ドレン(高排水用)

VP・VU75用



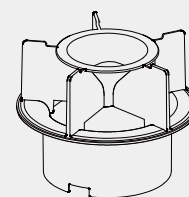
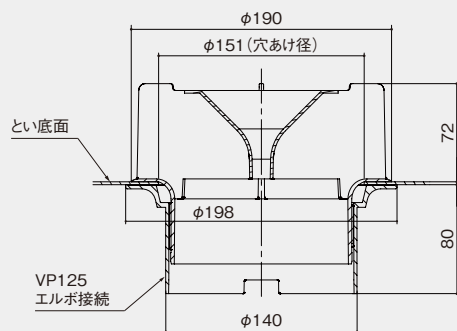
※エルボカン合

VP100用



※エルボカン合

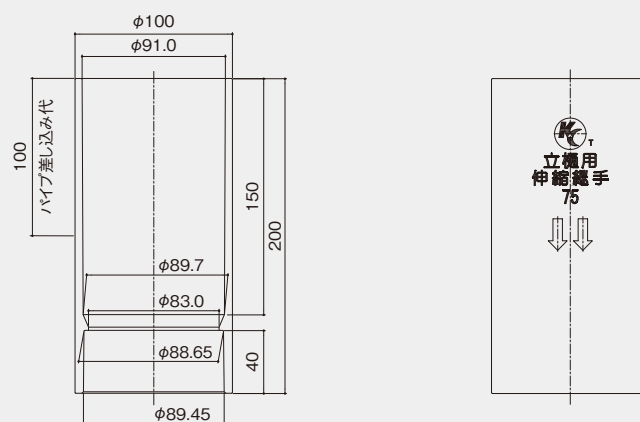
VP125用



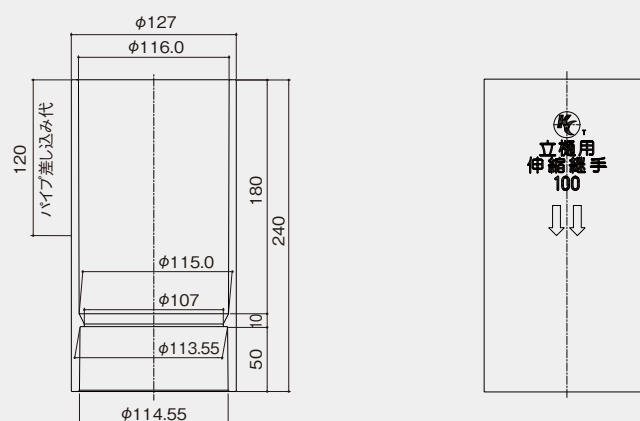
※エルボカン合

スライドS(高排水用)〈(株)クボタケミックス製〉

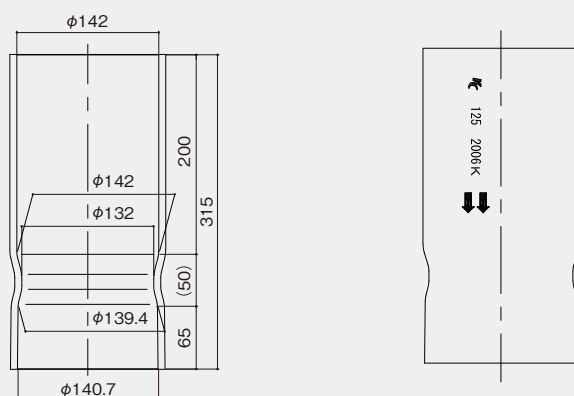
VP・VU75用



VP100用

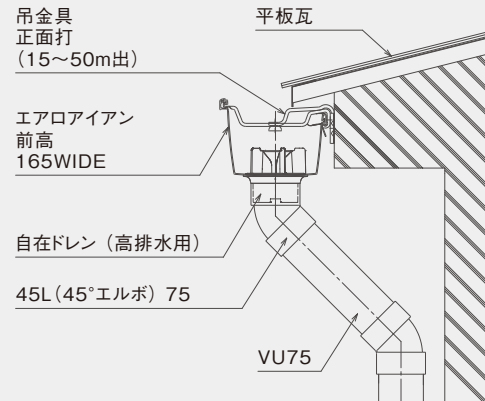
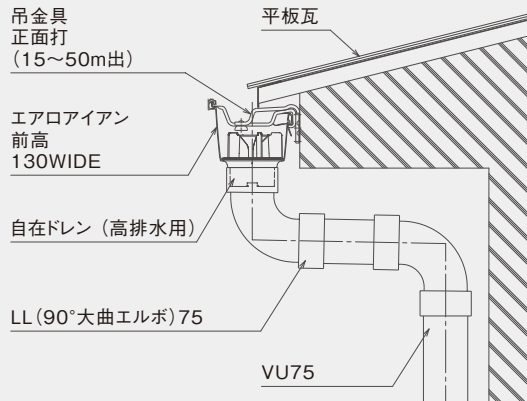


VP125用

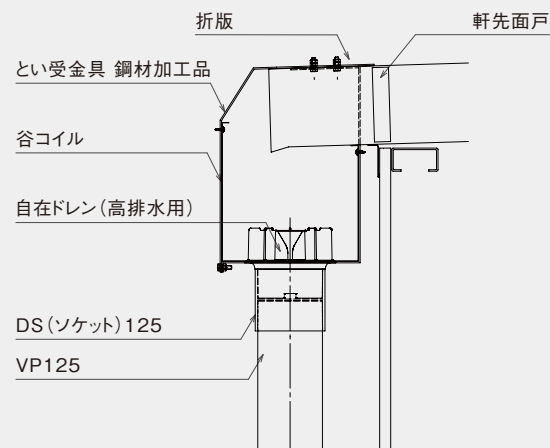
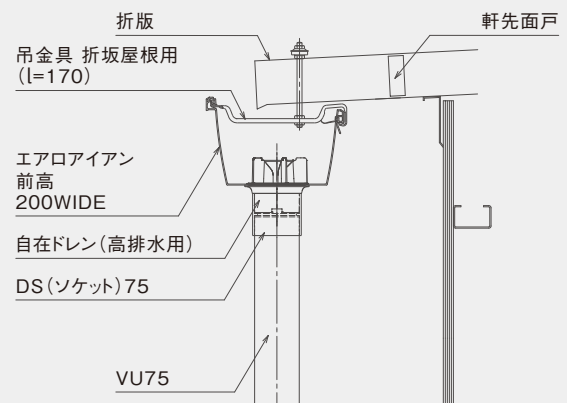
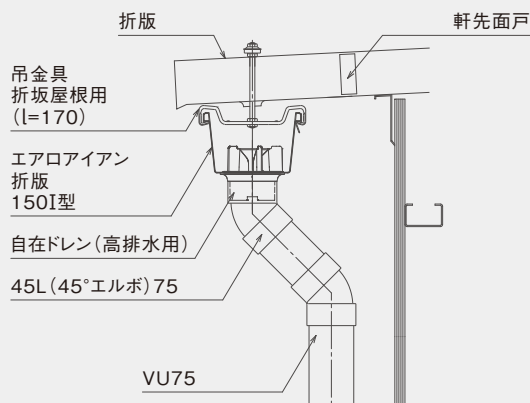


軒先納まり例

平板瓦（一般地域の軒先納まり）



折版屋根（一般地域の軒先納まり）



施工事例



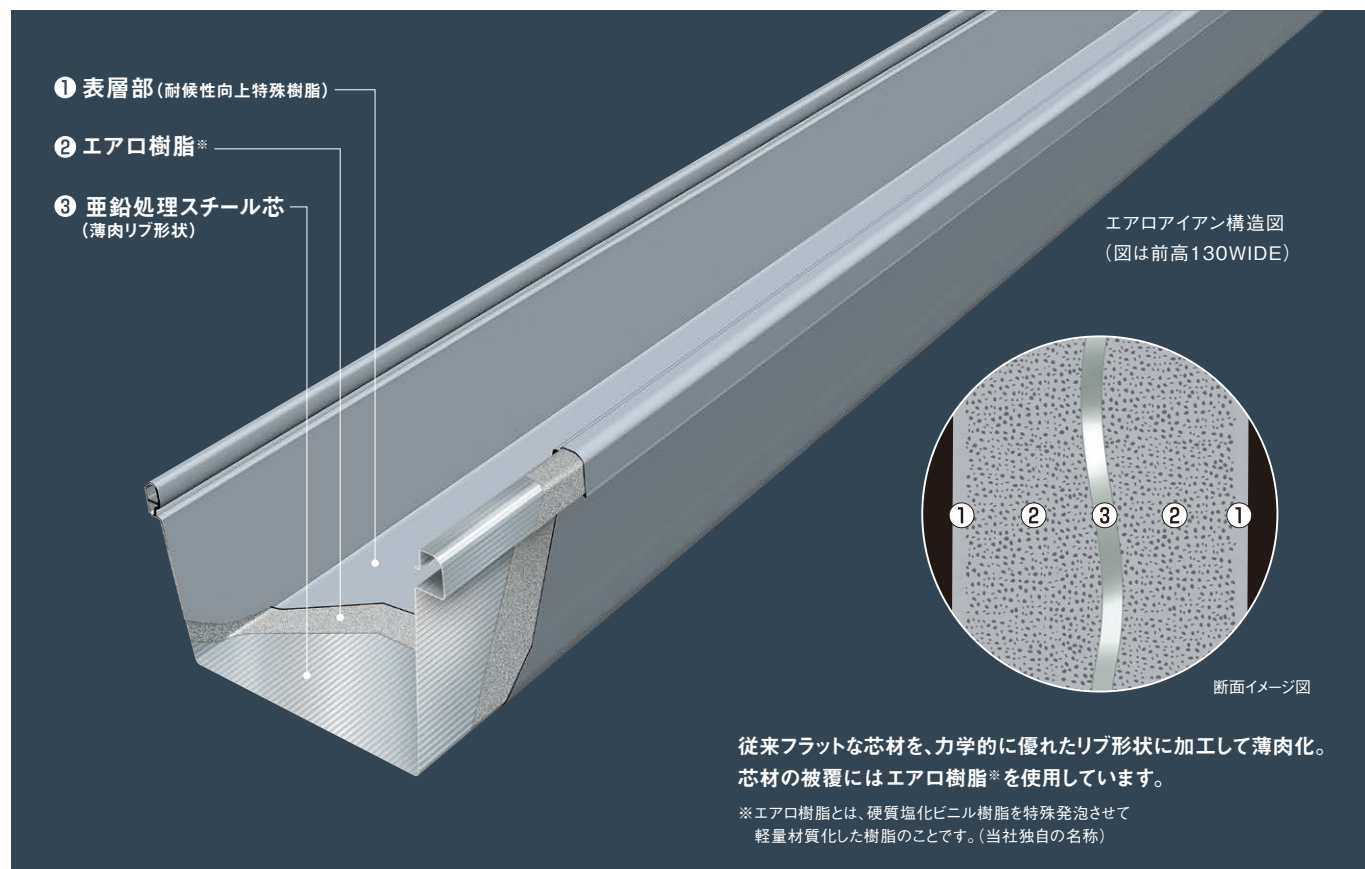
大型雨といエアロアイアン

エアロアイアン



スチール芯材を薄肉化し、軽量のエアロ樹脂※で被覆した当社独自のエアロアイアン構造。
アイアンの強さを持ちながら、軽量で搬入・施工がしやすい雨といです。

詳細はWEBを
ご確認ください



熱に強い

温度に対する伸縮率は、プラスチック製に比べ約1/4。80℃の高温でも軟化せず、蛇行現象が起これにくい構造です。また20m以内なら伸縮継手が不要で、施工時間が短縮できます。

たわみにくい

スチール芯入りだから衝撃や荷重に強く、雪や土砂の重みにも持ちこたえ、長寿命です。

色あせしにくい

耐候性向上仕様で、紫外線による褪色や変色に優れた耐候性を発揮します。

※耐候性向上仕様は、エアロ樹脂表面に「塩ビ系耐候性向上特殊樹脂」を被覆した商品です。

耐候性
向上
仕様

(変色差保証対象外)

デザインは

前高・折版の2タイプ。

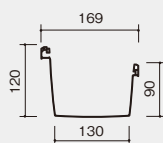
前高タイプは、外観から見えない内吊金具で軒先のラインがすっきり。一般地域(積雪基準30cm)では吊金具ピッチ1000mmでも対応でき、施工の省力化とコストを抑えます。



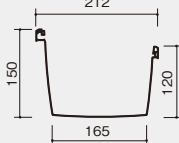
断面図

(単位: mm)

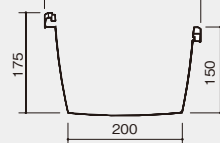
前高130WIDE



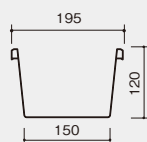
前高165WIDE



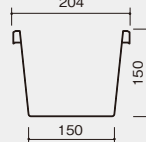
前高200WIDE



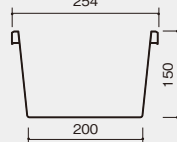
折版150I型



折版150II型



折版200I型



タフカラーパイプ・継手

建築デザインが多様化する中、クボタケミックスでは、ご要望の多い5色のVP・VUをラインナップしました。
紫外線等による退色や変色を抑える耐候性向上仕様により施工当初の外観を長く維持します。



詳細はWEBを
ご確認ください

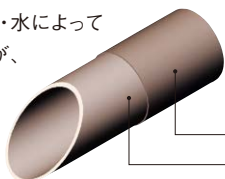


建物に合わせて選べる5色。



耐候性アップしたタフカラーパイプ。

元来、塩ビ管は日光・熱・水によって
変色しやすい材質ですが、
耐候性向上樹脂で覆う
ことによって変色や
退色しにくくしました。



使用温度範囲:5~60℃
使用圧力:無圧・自然流下

外層:耐候性向上樹脂
内層:硬質塩化ビニル樹脂

■従来のカラーパイプとタフカラーパイプの耐候性比較

		0時間	200時間	500時間	1000時間
ココア ブラウン	耐候性 向上仕様				
	従来仕様				
シルバー グレー	耐候性 向上仕様				
	従来仕様				

※社内規格の促進暴露試験結果

※1 株式会社クボタケミックスについて、詳しくはホームページ (<https://www.kubota-chemix.co.jp/>) をご覧ください。

優れた耐食性・掃流性。

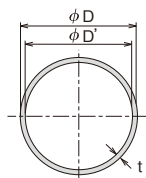
硬質ポリ塩化ビニル製ですので耐食性に優れ、流れはいつもスムーズ。
内表面は滑らかですのでスケールも付着しにくく、
流量低下の心配がありません。

優れた施工性。

一般の塩ビ管同様、
軽量で取り扱いやすく、
複雑な配管でも
スピーディーに
施工できます。



■寸法図



(単位: mm)

呼 称	外 径 φD		厚 さ t		近似内径 φD'	参考重量 (kg/m)
	基本寸法	平均許容差	最少寸法	許容差		
VP75	89	±0.5	5.5	+0.8	77	2.202
VU75	89	±0.3	2.7	+0.6	83	1.159
VP100	114	±0.6	6.6	+1.0	100	3.409
VP125	140	±0.8	7.0	+1.0	125	4.464

耐酸被覆鋼板(両面) 谷コイル・谷コイル広幅

サビに強い芯材の表裏面と両端を、弾力性があり耐久性・耐候性・耐食性に優れた被覆層で包み込んだ構造。折り曲げ・打ち抜き・ロール成型などをトタンと同じ要領で加工できます。



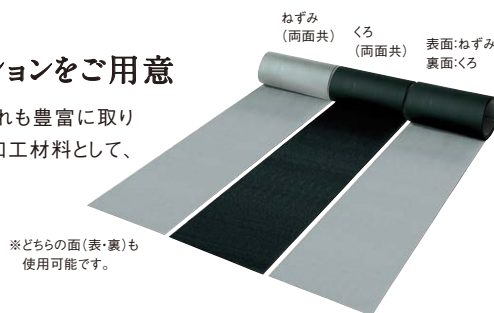
詳細はWEBをご確認ください



谷コイル

豊富なバリエーションをご用意

幅・芯材厚・カラーのいずれも豊富に取り揃え、さまざまな雨仕舞の加工材料として、大きな効果を発揮します。



※どちらの面(表・裏)も使用可能です。

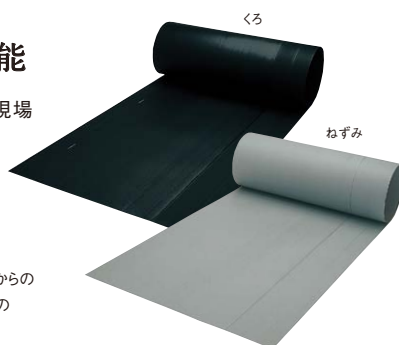
谷コイル広幅

底部を1000mmまで継ぎ足しなしで施工可能

1000mmの底部をつくる場合、施工現場や工場での継ぎ足し加工が不要で、「谷コイル」に比べて施工時間が約1/6に短縮できます。

防水・防錆に優れた一体成形

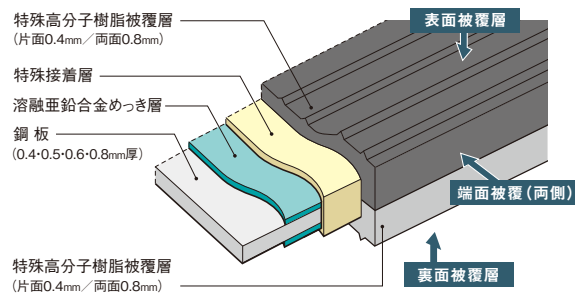
従来の継ぎ足し加工におけるシーリング塗布部からの水もれや、長時間使用によるリベットのサビなどの問題はほとんど心配ありません。



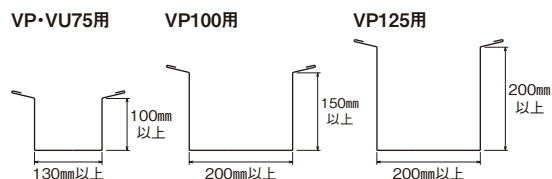
大型建物の軒とい・谷といに使えます

- ◎工場・倉庫の谷とい・水切り ◎パラベットの内とい
- ◎体育館などの箱とい ◎ビル・マンションの屋上屋根の軒とい

構造図

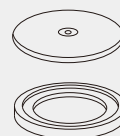


高排水システム 谷コイル最小加工サイズ



自在ドレン(高排水用)専用のドレン凹ターを特注品にてご用意しています。

詳細はケイミー(株)営業所までお問い合わせください。



ケイミュー株式会社

商品に関するお問い合わせやカタログ・サンプル等のご依頼は、下記最寄りの営業所または、お客様ご相談窓口をお願いいたします。

営業拠点

北海道営業所	〒060-0809 札幌市北区北9条西2丁目1番地 電話(011)746-2663 FAX(011)746-2664	大阪第1営業所	〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F 電話(06)6945-8134 FAX(06)6945-8072
道東営業所	〒080-0013 帯広市西3条南10-32 日本生命帯広駅前ビル6F 電話(0155)28-7670 FAX(0155)21-6501	大阪第2営業所	〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F 電話(06)6945-8134 FAX(06)6945-8072
奥羽営業所	〒020-0122 盛岡市みたけ4-3-8 電話(019)643-0676 FAX(019)643-0677	近畿営業開発室	〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F 電話(06)6945-8134 FAX(06)6945-8072
青森営業所	〒030-0823 青森市橋本2-13-5 グランスクエア青森2F 電話(017)723-0406 FAX(017)723-0407	京滋営業所	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町34 電話(075)661-0845 FAX(075)661-0846
秋田営業所	〒010-0951 秋田市山王3-3-18 電話(018)863-7920 FAX(018)863-7921	神戸営業所	〒650-0031 神戸市中央区東町126神戸シルクセンタービル8F 電話(078)333-1048 FAX(078)333-1105
東北営業所	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台9F 電話(022)727-8860 FAX(022)272-2127	広島営業所	〒730-0037 広島市中区中町7番1号 電話(082)245-0354 FAX(082)247-6290
東北営業開発室	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台9F 電話(022)727-8860 FAX(022)272-2127	山口営業所	〒754-0022 山口市小都花園町7-22 電話(083)973-5586 FAX(083)973-5587
福島営業所	〒963-8024 郡山市朝日2-5-15 電話(024)939-4778 FAX(024)939-4779	岡山営業所	〒700-0973 岡山市北区下中野337-106 電話(086)243-0560 FAX(086)243-0569
新潟営業所	〒950-2031 新潟市西区流通センター1-1-3 電話(025)260-8050 FAX(025)260-8051	山陰営業所	〒683-0804 米子市米原4-5-43 電話(0859)22-9322 FAX(0859)22-9323
北関東営業所	〒370-0006 高崎市間屋町1丁目6番7号 電話(027)361-5236 FAX(027)361-5237	四国営業所	〒761-0113 高松市屋島西町字百石1960 電話(087)843-6114 FAX(087)843-6117
関東営業開発室	〒370-0006 高崎市間屋町1丁目6番7号 電話(027)361-5236 FAX(027)361-5237	松山営業所	〒790-0964 松山市中村1丁目2-1 電話(089)934-1944 FAX(089)934-1945
宇都宮営業所	〒320-0833 宇都宮市不動前1-3-12 電話(028)633-7286 FAX(028)633-7287	高知営業所	〒781-0806 高知市知寄町2丁目1番37号 ちより街テラス5F 電話(088)804-3155 FAX(088)804-3156
長野営業所	〒380-0916 長野市大字稲葉字中千田沖2188-1 電話(026)223-7831 FAX(026)223-7841	福岡営業所	〒810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号 電話(092)523-9755 FAX(092)523-9756
東関東営業所	〒305-0032 つくば市竹園1丁目6番地1号 つくば三井ビル16F 電話(029)860-6166 FAX(029)854-7255	九州営業開発室	〒810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号 電話(092)523-9755 FAX(092)523-9756
東京営業所	〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6 KDX浜松町プレイス9F 電話(03)3432-2600 FAX(03)3432-2645	長崎営業所	〒851-0103 長崎市中里町1696-1 電話(095)838-8730 FAX(095)838-8735
首都圏営業開発室	〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6 KDX浜松町プレイス9F 電話(03)3432-2606 FAX(03)3432-2646	北九州営業所	〒802-0974 北九州市小倉南区徳力6-14-35 電話(093)964-7901 FAX(093)964-7902
西東京営業所	〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目6-6 中村LKビル7F 電話(042)527-0981 FAX(042)527-0983	大分営業所	〒870-0152 大分市牧23-1 電話(097)558-3653 FAX(097)558-3677
埼玉営業所	〒338-0002 さいたま市中央区下落合1000番1号 パナソニック埼玉ビル2F 電話(048)826-2301 FAX(048)826-2302	熊本営業所	〒860-0072 熊本市西区花園1丁目5番5号 電話(096)355-8330 FAX(096)355-8331
千葉営業所	〒261-7101 千葉市美浜区中瀬2-6-1ワールドビジネスガーデンアネックス棟1F 電話(043)298-3566 FAX(043)298-3567	南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町8-58 電話(099)268-8822 FAX(099)268-8833 ※2022年10月24日より上記新住所に移転しました。
神奈川営業所	〒221-0056 横浜市神奈川区金港町2-6横浜プラザビル3F 電話(045)450-9285 FAX(045)450-9286	宮崎営業所	〒880-0925 宮崎市大字本郷北方字草葉2099-2 電話(0985)53-7104 FAX(0985)53-7105
名古屋営業所	〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 電話(052)582-5634 FAX(052)561-6132	東京特需営業所	〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6 KDX浜松町プレイス9F 電話(03)3432-2608 FAX(03)3432-2648
中部営業開発室	〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 電話(052)582-5634 FAX(052)561-6132	近畿特需営業所	〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F 電話(06)6945-8139 FAX(06)6945-8074
北陸営業所	〒920-8203 金沢市鞍月4-117 電話(076)268-9590 FAX(076)268-9591	首都圏特建営業開発室	〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6 KDX浜松町プレイス9F 電話(03)3432-2607 FAX(03)3432-2646
静岡営業所	〒420-0817 静岡市葵区東静岡1丁目2番14号 電話(054)261-0336 FAX(054)261-0338	中部特建営業開発室	〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 電話(052)582-5634 FAX(052)561-6132
浜松営業所	〒430-0913 浜松市中区船越町33番26号 電話(053)466-9071 FAX(053)466-9069	近畿特建営業開発室	〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F 電話(06)6945-7860 FAX(06)6945-8075
三重営業所	〒514-0031 津市北丸之内166 電話(059)226-2276 FAX(059)226-2286		

お客様ご相談窓口 ナビダイヤル  0570-005-611 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)

●受付時間.....月～金 9:00～17:00(土・日・祝日・GW・お盆・年末年始は受付していません) FAX.0743-56-4023

商品の情報はホームページでご確認ください。

パナソニック 住まい

検索

sumai.panasonic.jp

商品の
お問い合わせ

■ 住宅設備・建材商品で相談窓口

【受付時間】 365日 / 9:00~18:00

個人のお客様



0120-878-093

●左記番号をご利用
いただけない場合 06-6780-5779 ※携帯電話からも
ご利用になります。

法人のお客様



0120-187-150

●左記番号をご利用
いただけない場合 06-6904-7270 ※携帯電話からも
ご利用になります。

パナソニック 住まい サポート 検索 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

●FAX 0120-872-460

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。※電話番号、受付時間などに変更になることがあります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社と誤認させて、電話勧誘したり、強引に販売する住宅設備・建材の訪問販売業者にご注意ください。
訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律※の適用を受けます。 ●特定商取引法(旧訪問販売法)※ ●消費者契約法(消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です)※

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



安全に関する
ご注意

- このカタログの商品は専門施工を必要とします。お買い上げの販売店または専門工事店にご相談ください。
- 掲載の商品は、施工前に必ず施工説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。
- 部品の施工時には必ず、接着剤をご使用ください。

ご購入にあたって

- 本カタログの希望小売価格には、配送・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店にご相談ください。

SMTPFC
リフォームローン

リフォームローンのことならおまかせください。詳細は当社ホームページをご覧ください。
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社 <https://www.smtpfc.jp/>

パナソニックグループは環境に配慮した
製品づくりに取り組んでいます。

Panasonic GREEN IMPACT

詳しくはこちら



パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 外廻りシステム事業部 〒520-3041 滋賀県栗東市出庭19番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

〈販売〉ケイミュー株式会社 〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー13F ケイミュー株式会社のホームページアドレス <https://www.kmew.co.jp/>

© KMEW Co., Ltd. 2022

このカタログの記載内容は2022年6月現在のものです。本書からの無断の複製はかたくお断りします。

KACT1E253 202211-6YK 第1版 -1